

2025年8月28日

各 位

会 社 名 : ポラリス・ホールディングス株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 田口 洋平
(コード番号 : 3010 東証スタンダード市場)
問合せ先 : 取締役 兼 最高財務責任者 細野 敏
(TEL:03-5822-3010)

2026年3月期 第1四半期 決算説明動画公開のお知らせ

2026年3月期第1四半期決算説明動画を下記のとおり公開いたしましたので、お知らせいたします。
本動画では、2026年3月期第1四半期決算説明資料の内容について当社代表取締役社長 田口 洋平が説明しておりますので、是非ご覧ください。

記

説明資料 : 「2026年3月期 第1四半期 決算説明資料」

説明動画 URL : <https://youtu.be/HISoPY1yLbs>

以 上

P  L A R I S
HOLDINGS

2026年3月期
第1四半期
決算説明資料

2025年8月13日

ポリス・ホールディングス株式会社
(証券コード:3010)

KOKO HOTEL 大阪なんば 千日前 KOKO HOTEL
2025年5月オープン

第1四半期 決算概要	<ul style="list-style-type: none">• ホテル運営事業が好調に推移し、業績達成に向けて順調に進捗• 四半期売上・営業利益は過去最高値を更新• 国内運営ホテルのRevPARは前年同期比で22%成長
中期経営計画の 進捗	<ul style="list-style-type: none">• 新規案件受託が順調に推移し、規模は中計の目標値を前倒しで達成見込み• 大阪の新築ホテルにスポンサーと5億円の戦略的共同出資を実行• スモールラグジュアリーホテルの運営を受託し、ホテルタイプの多様化戦略が実現
ミナシアとの 経営統合	<ul style="list-style-type: none">• ホテルブランドを「KOKO HOTEL」へ統合することを決定し、ブランドが拡張• ポリス・ミナシアの共通ポイントプログラムをスタートさせ、シナジーを早期に実現• 組織改編・本社機能統合により、PMIプロセスを加速
株主価値向上	<ul style="list-style-type: none">• 譲渡制限付株式報酬を導入し、マネジメントチームの株価へのコミットメント強化• 流通株式比率が前期末15.0%→23.2%と上場維持基準達成に向けて大幅改善• 新株主優待制度（ホテル割引制度）がスタート

決算概要：決算ハイライト

当期純利益の進捗率は28%と業績予想達成に向けて、順調に推移

単位：百万円	第1四半期実績			業績予想		前年同期実績	前年同期比
	国内	海外	合計	予想値	進捗率		
売上高	10,519 (93.4%)	738 (6.6%)	11,257	45,700	25%	4,752	+137%
営業利益	832 (89.6%)	97 (10.4%)	929	3,190	29%	442	+110%
経常利益	625 (97.4%)	17 (2.6%)	642	2,100	31%	287	+124%
親会社株主に 帰属する純利益	541 (98.4%)	9 (1.6%)	550	2,000	28%	257	+114%
のれん償却額	326	0	326	1,304	-	0	-
EPS (円)	-	-	2.35	8.56	28%	2.07	+14%
のれん償却前EPS (円)	-	-	3.75	14.13	27%	2.07	+81%

注 1. 国内と海外の実績の括弧内は構成比を示す。

2. ミナシア及び海外ホテル（1ホテル除く）の業績は2025年1月～3月期の業績を取込み。

3. 発行済株式数は2026年3月期第1四半期時点233,754,680株、前年同期末時点124,133,889株。

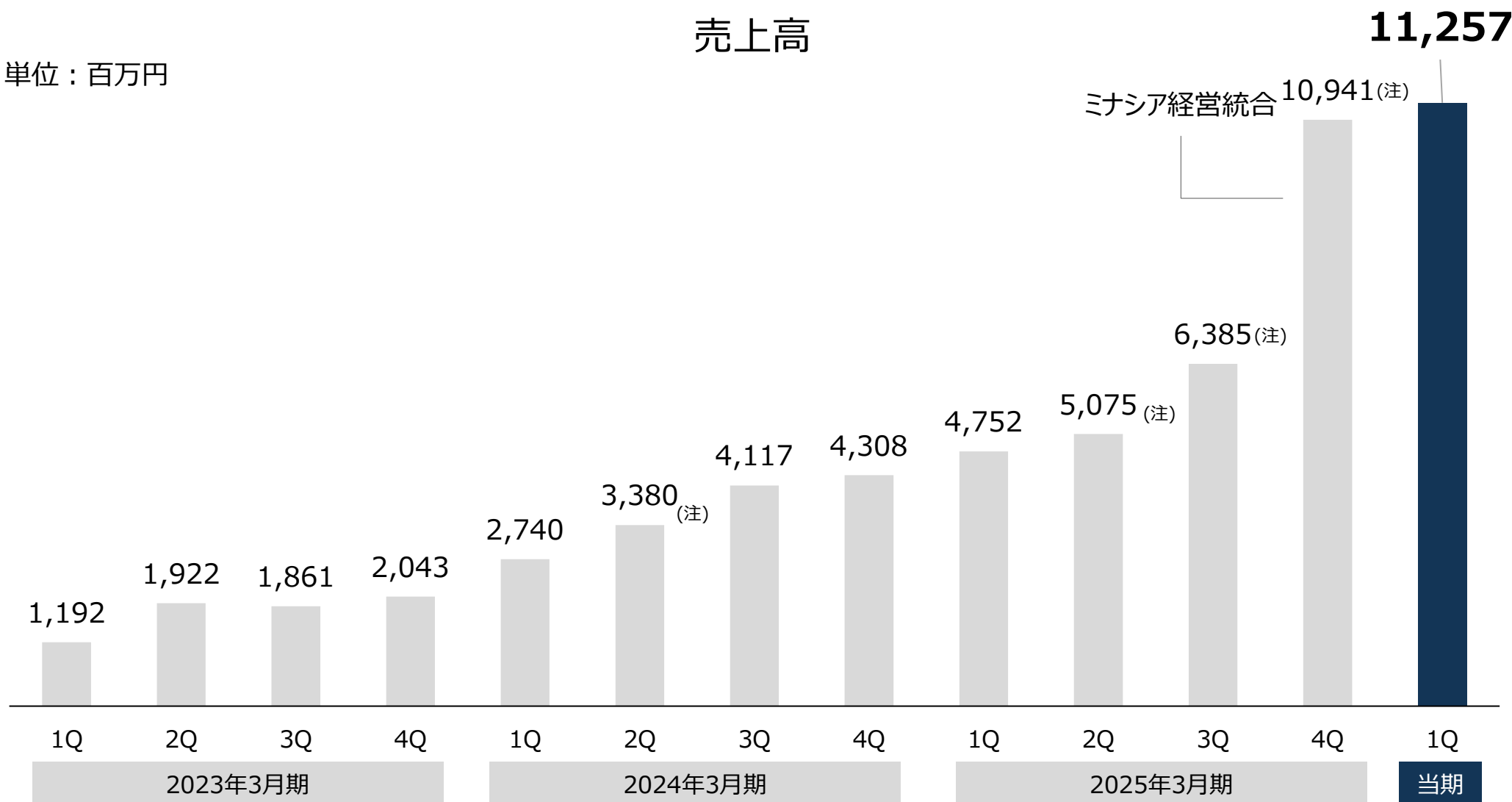
4. のれん償却額は株式会社ミナシア取得に伴い発生した費用で、のれん償却前EPSとは当期純利益にのれん償却額を加算して計算。

決算概要：売上高

ミナシアとの経営統合による売上規模拡大及び好調なホテル運営事業に支えられ、過去最高^(注)の四半期売上を達成

売上高

単位：百万円



注：一時的な要因である不動産売却及び出資分配益の影響を除外した数値。

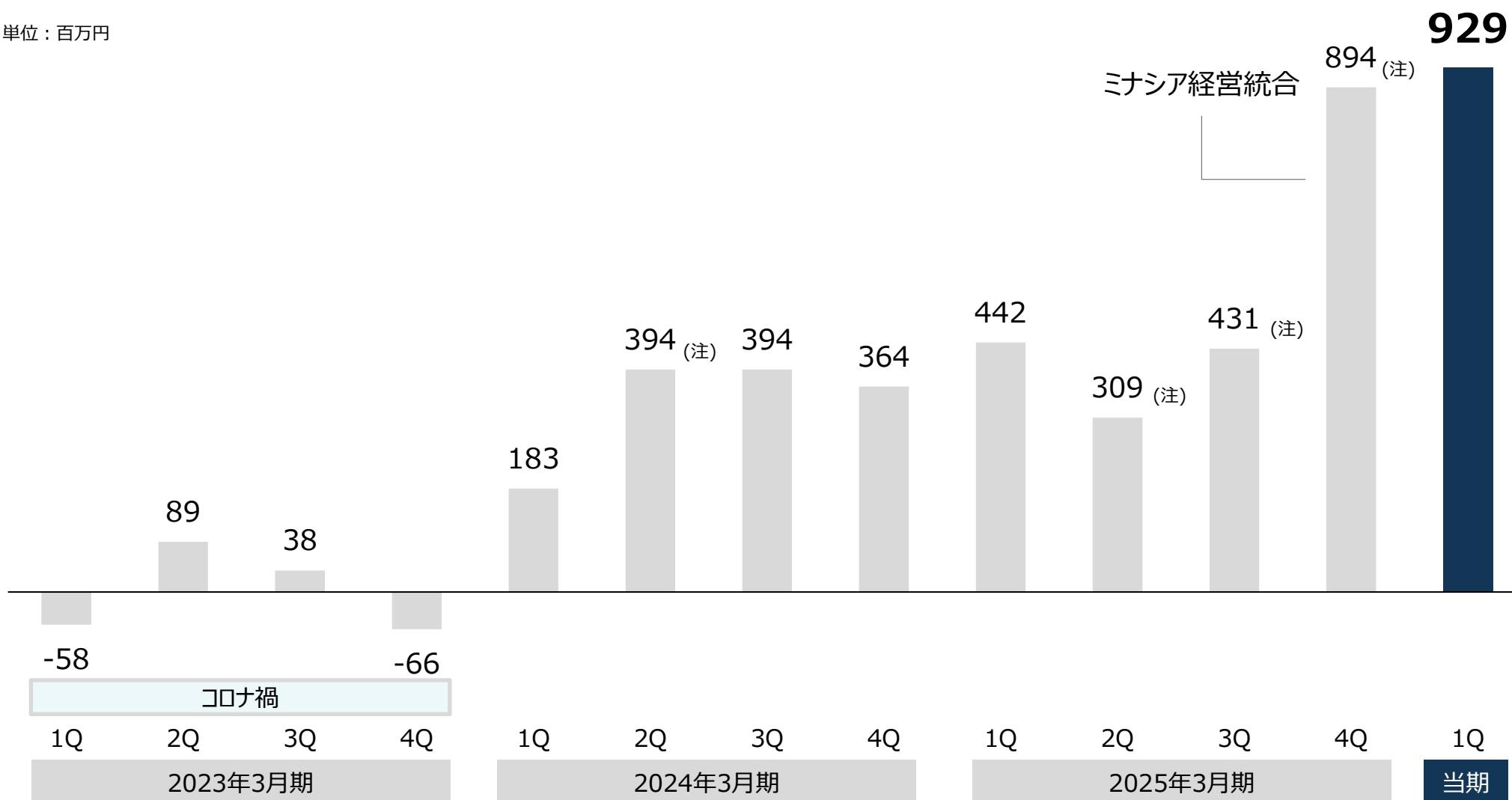
決算概要：営業利益

売上増加に伴い、過去最高^(注)の四半期営業利益を達成

対業績予想
進捗率
29%

営業利益

単位：百万円

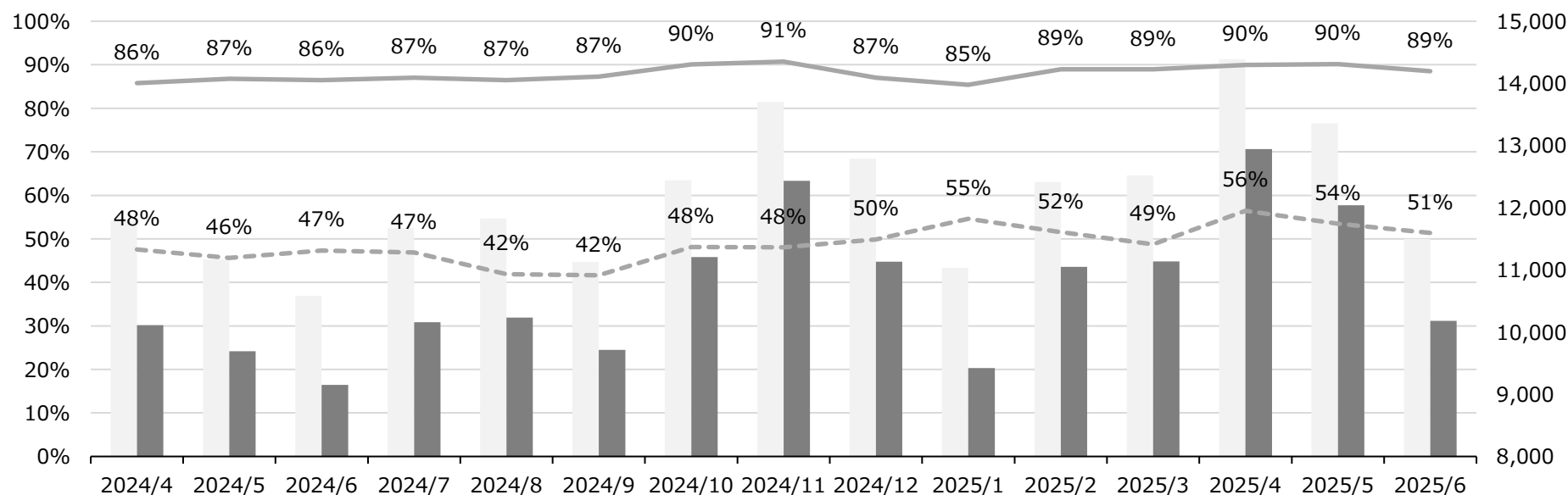


インバウンド需要の成長を取り込み、RevPARは前年同期比で22%成長

比較可能 66ホテル	当四半期 2025年4月～6月	前四半期 2024年4月～6月	増減数	増減率
稼働率	89.6%	86.3%	+3.2%	-
ADR (円)	13,093	11,179	+1,915	+17%
RevPAR (円)	11,725	9,652	+2,073	+22%
インバウンド比率	53.8%	46.8%	+7.0%	-

月別KPI推移

単位：円



注：巻末「留意事項」参照

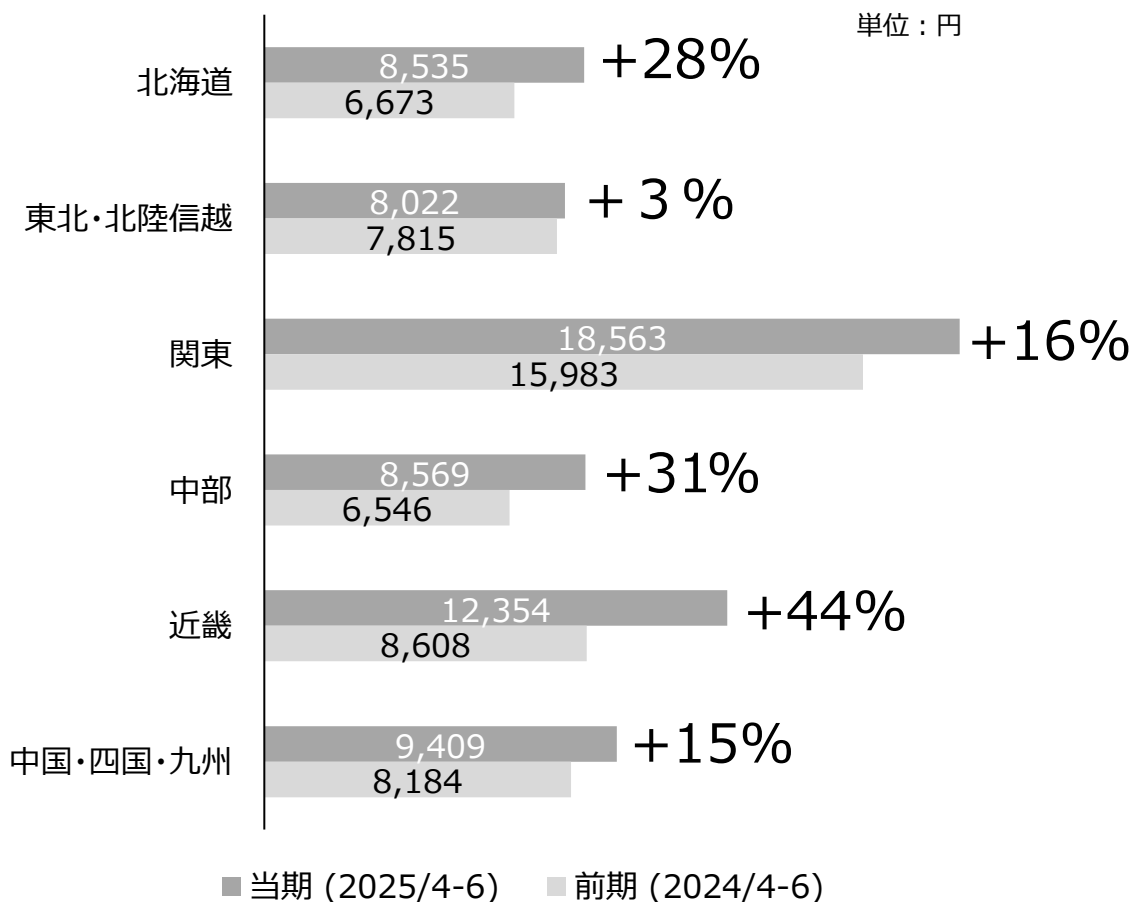
ADR RevPAR 客室稼働率 インバウンド比率

決算概要：国内ホテル エリア別KPI (注)

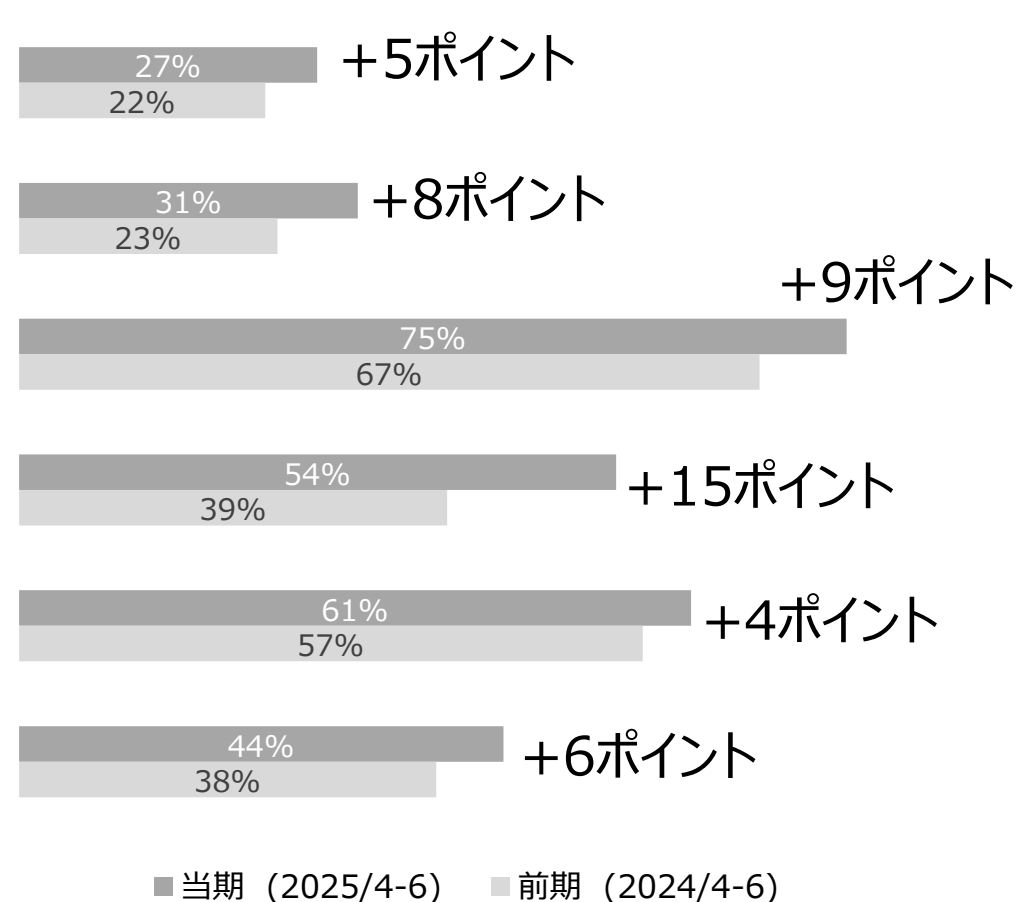
全エリアでインバウンド比率・RevPARが前年同期を上回る

エリア別RevPAR

単位：円



インバウンド比率



注：巻末「留意事項」参照

決算概要：海外ホテル（Red Planet） KPI

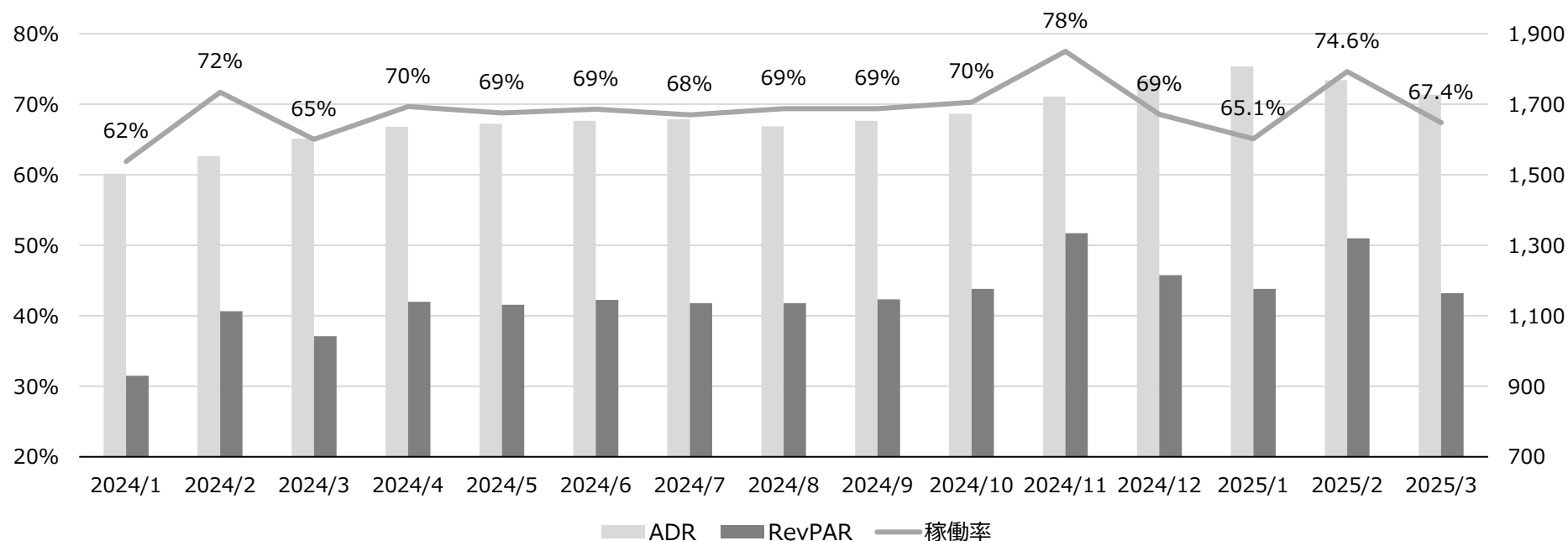
引き続き単価が上昇し、RevPARは前年同期比で19%成長

比較可能 14ホテル	当四半期 2025年1月～3月	前四半期 2024年1月～3月	増減数	増減率
稼働率	68.8%	66.1%	2.8%	—
ADR（ペソ）	1,766	1,553	213	+14%
RevPAR（ペソ）	1,216	1,027	190	+19%

注：海外運営ホテルの業績の連結決算への反映は3か月前の数値となるため、1-3月期の数値。

月別KPI推移

単位：ペソ



ホテル収益の感応度分析（試算）

ポートフォリオ全体の売上増加額100に対して営業利益は46増加する試算。アップサイド、ダウンサイド両面に強いポートフォリオを構築

当四半期の運営契約形態別利益構造と営業利益の感応度

	国内			海外	総計
	所有型 及び 賃借型：固定賃料	賃借型： 固定 + 変動賃料	運営受託型	所有型	
当四半期末ホテル数	17	48	9	14	88
当四半期末客室数	2,841	7,158	1,174	2,453	13,626
稼働率	75%	89%	87%	67%	82%
ADR	¥12,380	¥12,568	¥15,602	¥4,681	¥11,593
RevPAR	¥9,260	¥11,160	¥13,590	¥3,144	¥9,481
売上高（百万円）	2,589	7,903	1,278	1,000	12,771
営業利益（百万円）	770	1,023	78	153	2,024
構成割合	38%	51%	4%	8%	100%
営業利益／売上高	30%	13%	6%	15%	16%
売上高の変化に対する営業利益の感応度					
ADR 5%増加時の売上増加額（百万円） A	120	363	60	47	590
ADR 5%増加時の営業利益増加額（百万円） B	96	130	5	42	272
増収利益貢献率 B/A	80%	36%	8%	89%	46%

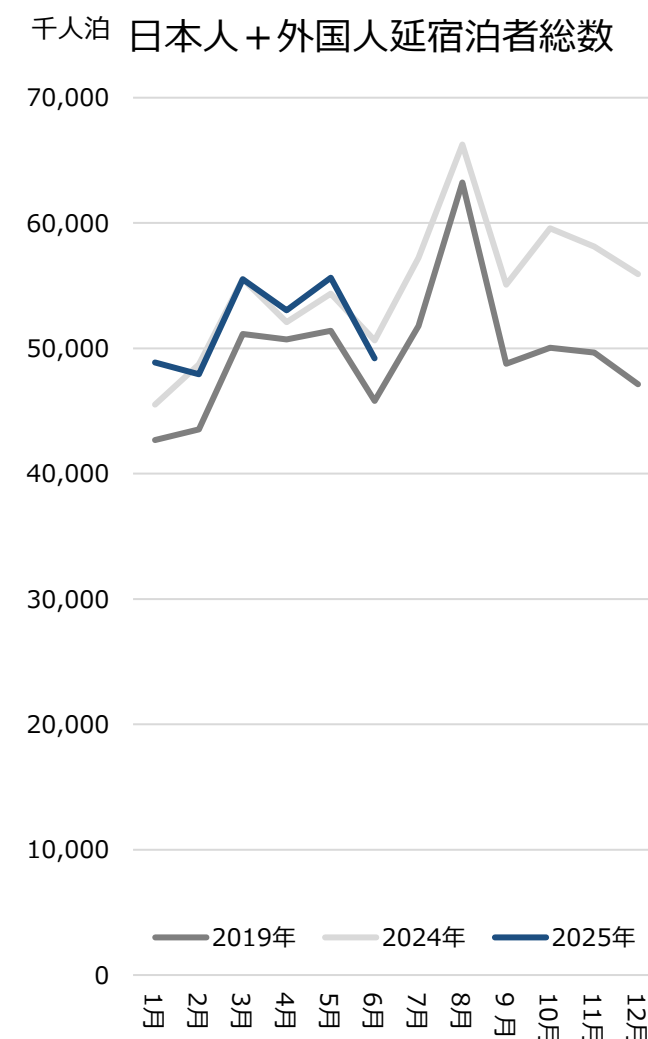
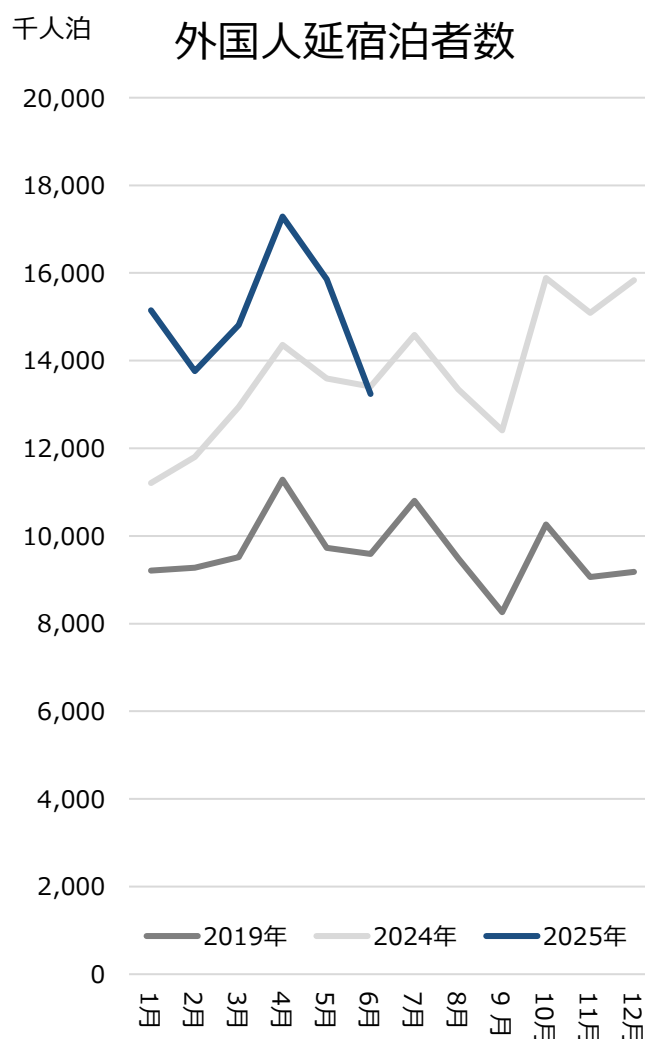
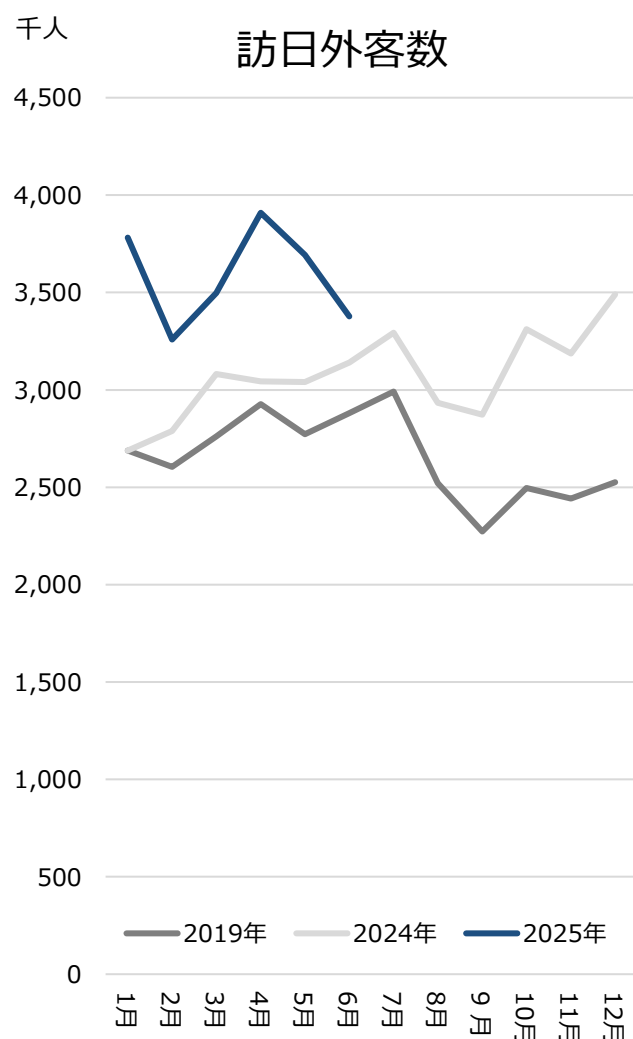
増収利益貢献率とは、売上増加分に対してどれだけ利益が増えるかを示す指標

注

- 当四半期の実績をベースに、稼働率を所与とし、ADRが+5%であった場合の売上高と営業利益の変化を推計し、増収利益貢献率を試算。
- 計算対象に当社ホテルのフランチャイズホテルは含まれていない。
- GOP（Gross Operating Profit）とは、ホテル運営から生じる売上から運営費用（不動産所有、賃借に起因する費用を除く）を控除した運営総利益。
- ミナシア運営施設の数値は2025年4～6月の数値。海外ホテル（Red Planet）の数値は2025年1～3月の数値で、2025年1～3月の平均為替レートである1ペソ = 2.65円を採用。
- 売上高・営業利益は各運営ホテルの管理会計ベースの数値の合計値であり、財務会計上求められる調整（のれん償却、リース会計、運営委託契約型のホテルに係る売上高調整等）を行っておらず、本社経費を考慮していない。また、売上高は料飲売上、その他売上を含む。
- 売上高、GOPは、所有型、賃借型及び運営受託型問わず、ホテル単体の管理会計数値の合計値。運営受託型の場合、売上高及び一部経費は不動産オーナーに帰属する。営業利益は、当社に帰属する営業利益。
- ADR、RevPARについては巻末「留意事項」参照。

宿泊市場動向：延宿泊者数

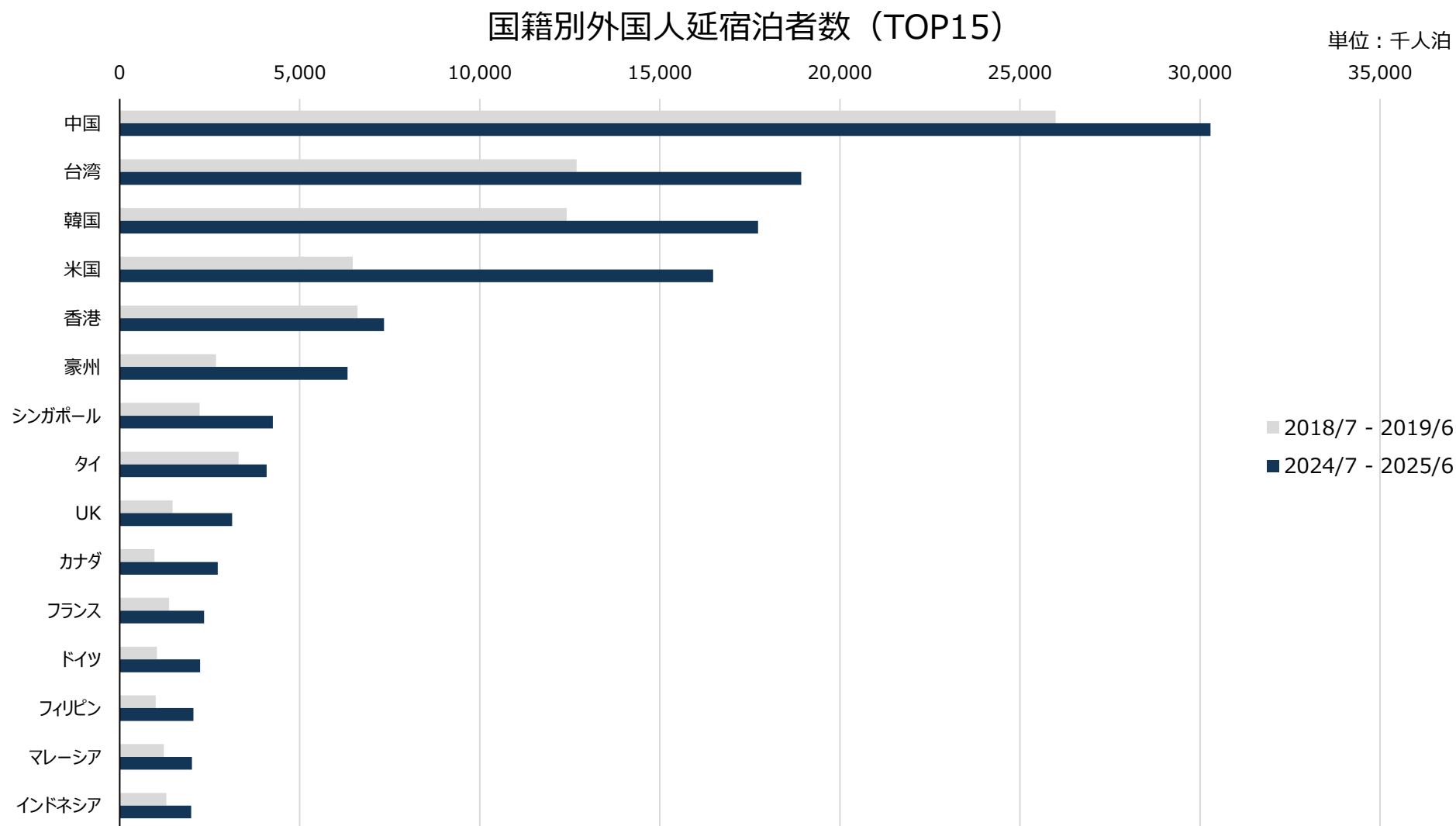
インバウンドはコロナ禍前の水準を上回り、国内宿泊市場は引き続き堅調に推移



(出典) 日本政府観光局「訪日外客数」、観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに当社にて作成。

宿泊市場動向：国籍別インバウンド

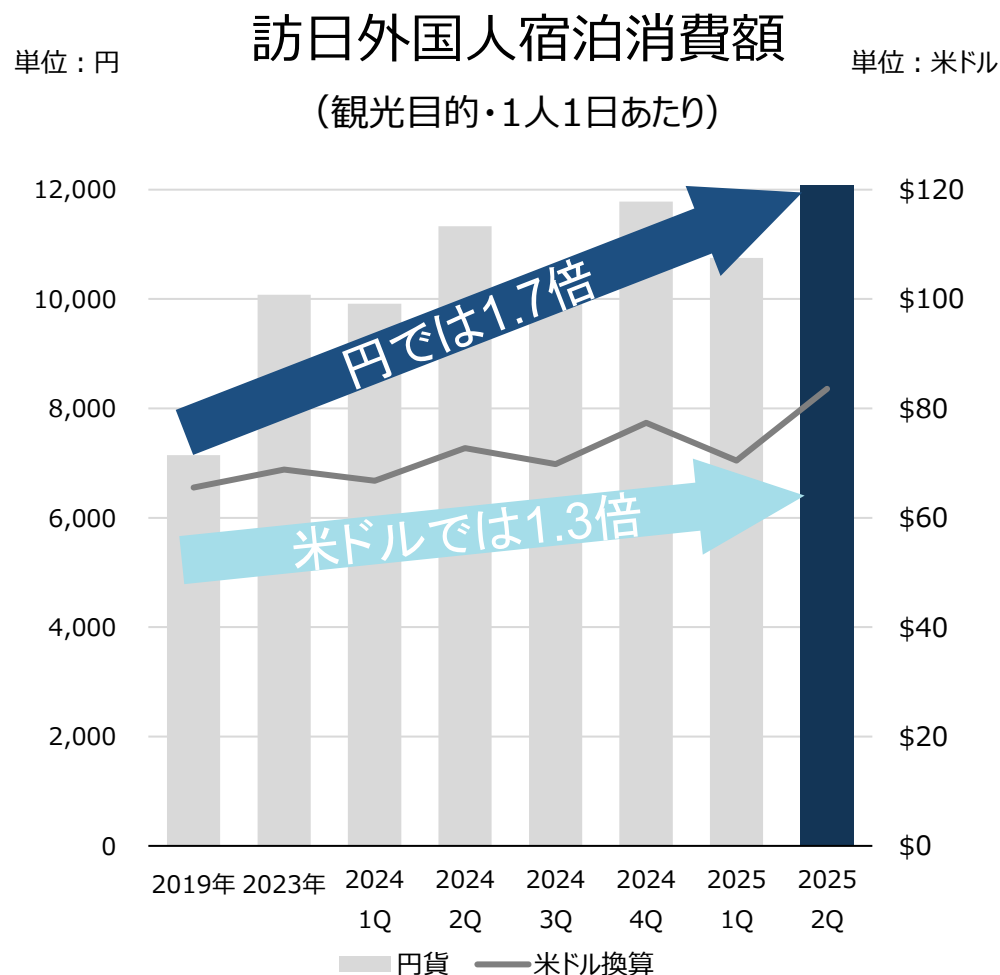
国別でもコロナ禍前のレベルを超過し、アジア・欧米豪からの宿泊需要が伸長



(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」・「インバウンド消費動向調査」をもとに当社にて作成。

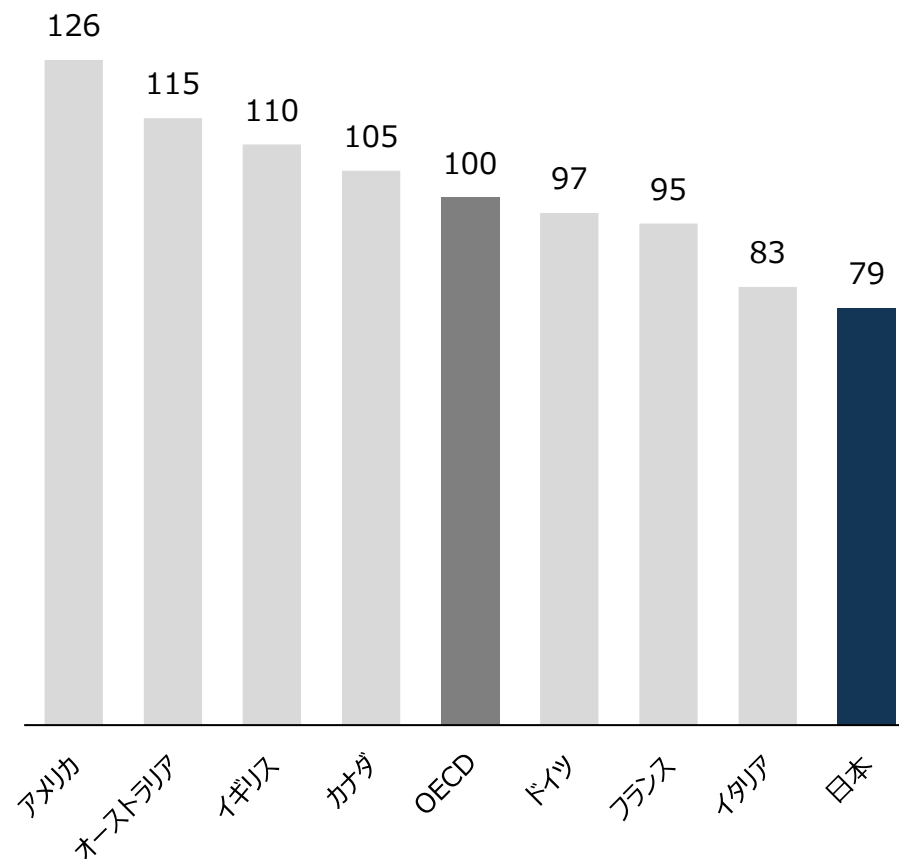
宿泊市場動向：インバウンド消費額

宿泊消費額は増加傾向にあり、日本の物価水準から訪日旅行の割安感は継続



(出典) 観光庁「インバウンド消費動向調査」の観光目的訪日1人1回あたりの宿泊消費額を平均泊数で除して推計、為替レートは日本銀行「主要時系列統計データ」を採用。

物価水準指数 (2024年)



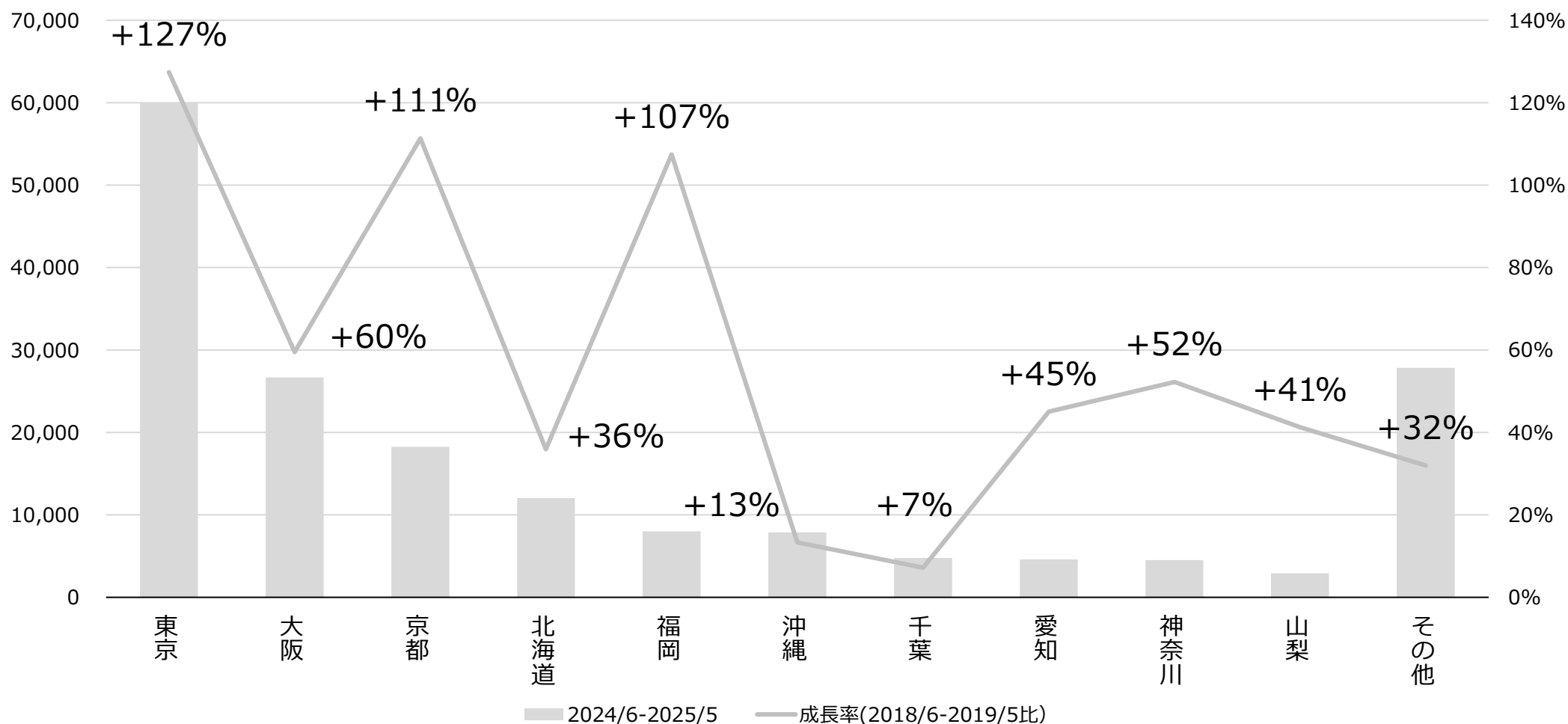
(出典) OECD「Price Level Indices」をもとに当社にて作成。

宿泊市場動向：地域別インバウンド

地方都市でもインバウンドはコロナ禍前と比較して成長

都道府県別延宿泊者数/成長率（対コロナ前比）

単位：千人泊



(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに当社にて作成。

宿泊市場動向：今後のインバウンド動向

上位5エリアにインバウンド需要が集中している一方、リピーター数が増加していることから、今後、地方への需要の波及が期待される

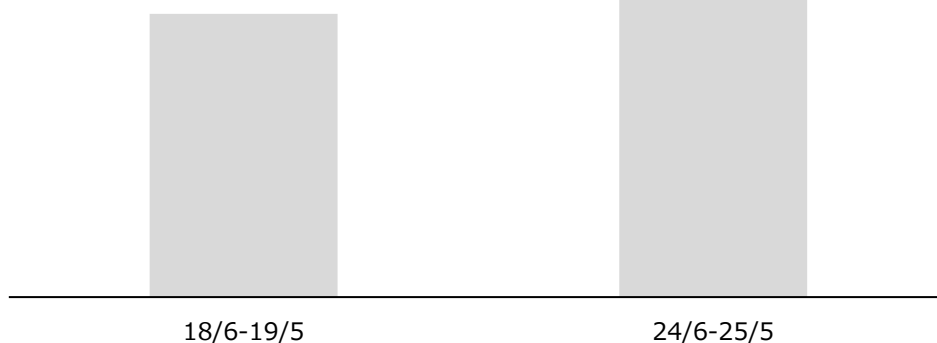
外国人延宿泊者数
上位5エリア構成比

70%

上位5エリア

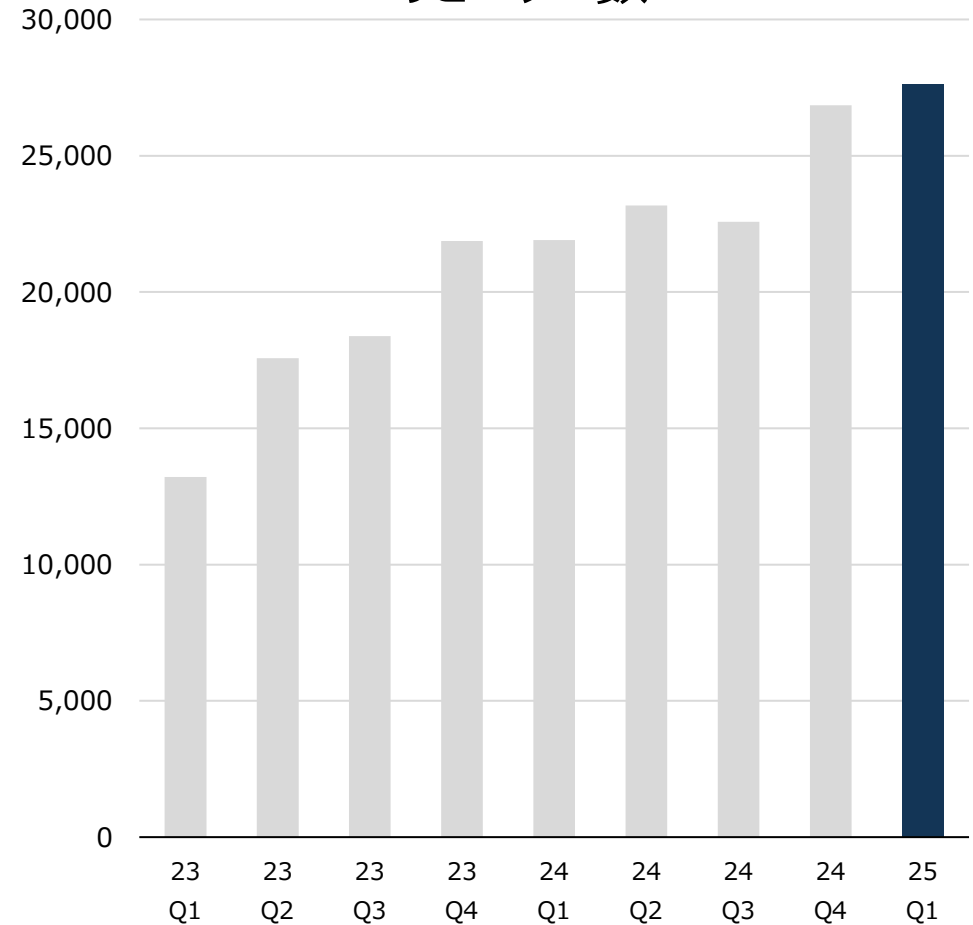
1. 東京
2. 大阪
3. 京都
4. 北海道
5. 福岡

61%



外国人延宿泊者数
リピーター数

単位：千人泊



(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」「インバウンド消費動向調査」をもとに当社にて作成。

初訪日・リピーター延宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の延宿泊者数にインバウンド消費動向調査の訪日回数比率を乗じて推計。

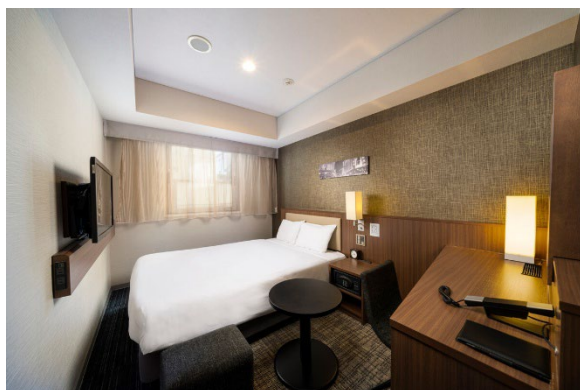
内部成長：収益向上の取組み事例

付加価値向上による単価アップを狙う各種取組みを実行

KOKO HOTEL 銀座1丁目の取組事例

レジャー需要の取り込みを狙い、ダブルベッドルームをツインルームに変更することでRevPARは+5,000円（23%アップ）

Before



After



人気美容機器ブランド「YA-MAN」とタイアップしたコンセプトルームを新設
RevPARで15%アップを狙う計画

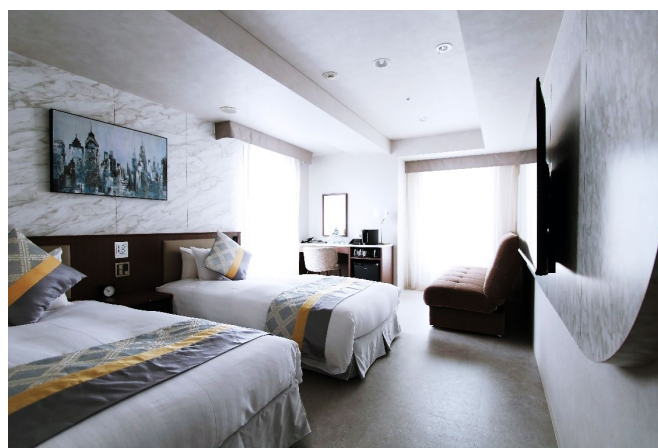


最上階のプレミアムフロアをリニューアルし、RevPARで20%アップを狙う計画（2025年7月工事完了）

エレベーターホール



客室

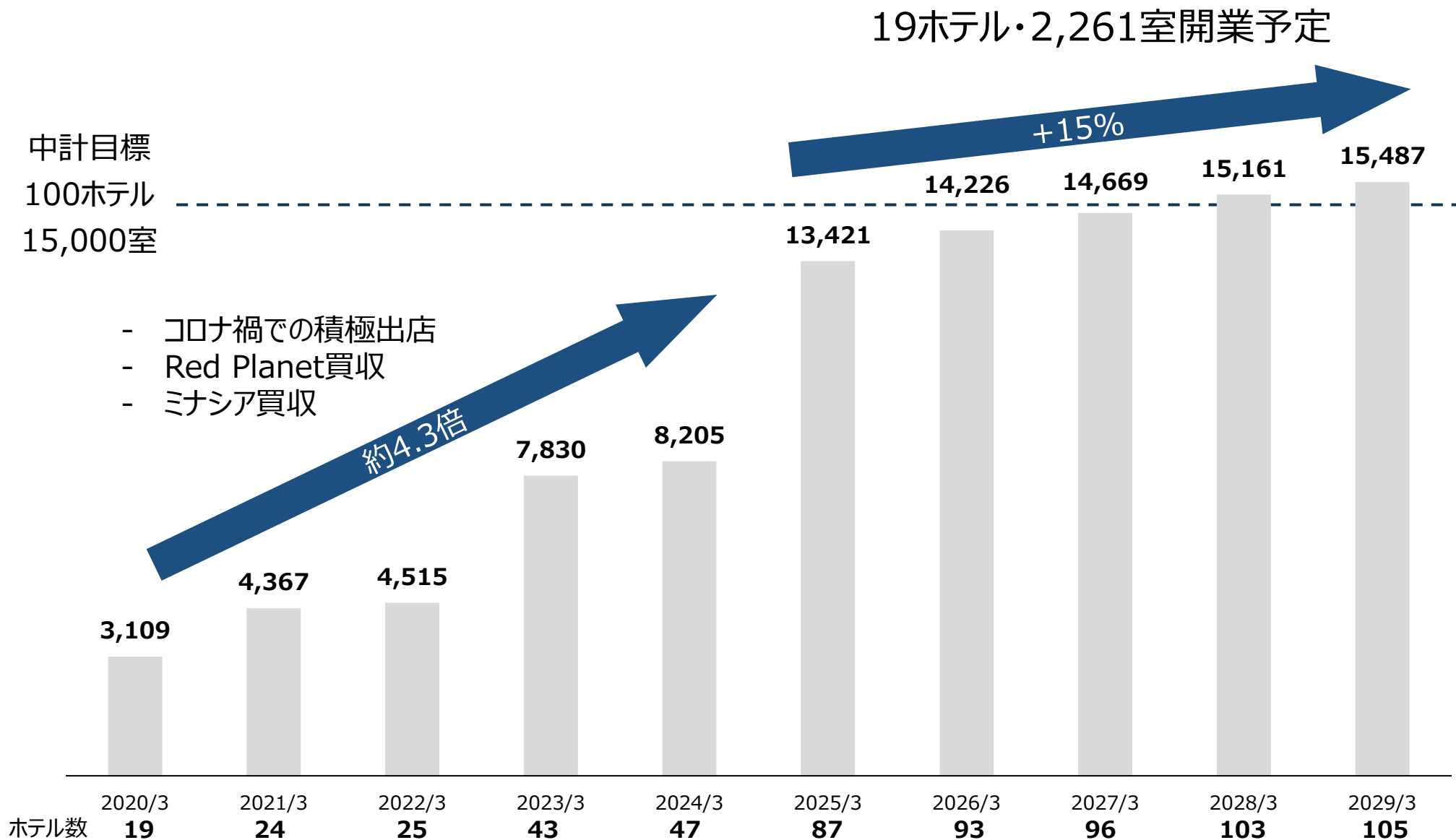


ラウンジ



外部成長：運営プラットフォームの成長

新規ホテル案件の受託が順調に進捗し、中計目標を早期に達成できる見込み



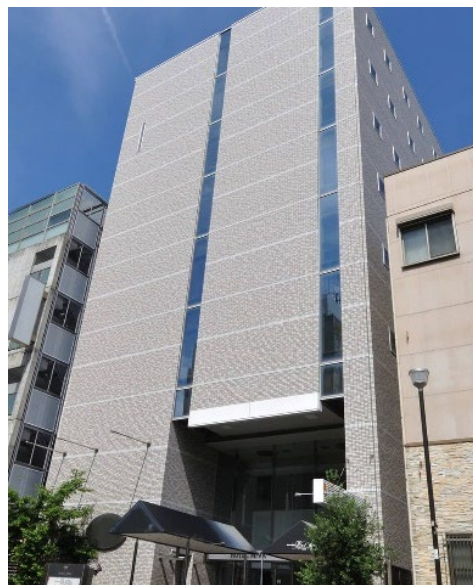
外部成長：開業予定ホテル一覧

No.	開業期	ホテル名	エリア	客室数	出店タイプ	契約タイプ	ホテルタイプ	オーナー
1	2026年 3月期	KOKO HOTEL 沼津駅前（2025年4月開業済）	静岡	92室	リブランド	運営受託	宿泊特化型	第三者
2		KOKO HOTEL 沼津インター（2025年4月開業済）	静岡	151室	リブランド	運営受託	宿泊特化型	第三者
3		KOKO HOTEL 大阪なんば 千日前（2025年5月開業済）	大阪	320室	新築	運営受託	宿泊特化型	スポンサー
4		ホテルふたり木もれ陽（2025年7月開業済）	静岡	10室	リブランド	運営受託	スモールラグジュアリー	第三者
5		KOKO HOTEL 東京西葛西	東京	184室	リブランド	賃貸借（固定+変動賃）	宿泊特化型	スポンサー
6		KOKO HOTEL 横浜鶴見	神奈川	185室	リブランド	賃貸借（固定+変動賃）	宿泊特化型	スポンサー
7		yugen kyoto shijo	京都	58室	リブランド	運営受託	アップスケール	第三者
8	2027年 3月期	KOKO HOTEL Premier 東京ベイ幕張	千葉	301室	新築	運営受託	宿泊特化型	第三者
9		KOKO HOTEL 仙台駅前Central	宮城	117室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	宿泊特化型	第三者
10		KOKO HOTEL Residence 押上（仮称）	東京	25室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	アパートメントホテル	第三者
11	2028年 3月期	KOKO HOTEL 那覇前島（仮称）	沖縄	132室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	宿泊特化型	第三者
12		KOKO HOTEL Residence 北上野（仮称）	東京	39室	新築	運営受託	アパートメントホテル	第三者
13		KOKO HOTEL 水戸駅前（仮称）	茨城	136室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	宿泊特化型	第三者
14		KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町 I（仮称）	東京	52室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	アパートメントホテル	第三者
15		KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町 II（仮称）	東京	52室	新築	運営受託	アパートメントホテル	第三者
16		KOKO HOTEL Residence 本所吾妻橋（仮称）	東京	45室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	アパートメントホテル	第三者
17		KOKO HOTEL Residence 東京京橋（仮称）	東京	36室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	アパートメントホテル	第三者
18	2029年 3月期	KOKO HOTEL 大森駅前	東京	153室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	宿泊特化型	第三者
19		KOKO HOTEL Premier 那覇（仮称）	沖縄	173室	新築	賃貸借（固定+変動賃）	宿泊特化型	第三者

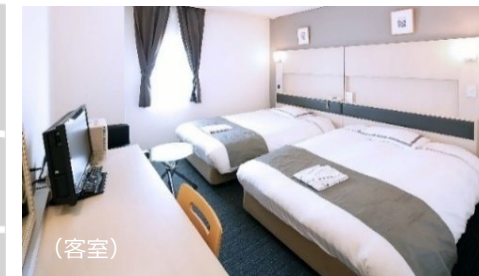
注：上記の内容は2025年7月末時点の予定であり、今後変更となる可能性があります。

外部成長：開業ホテル（沼津駅前/沼津インター）

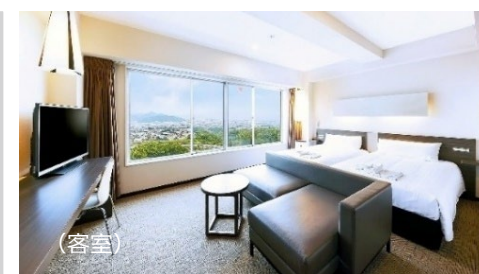
駅前・インターチェンジ近くの好立地に同時にリブランドで出店



ホテル概要	
名称	KOKO HOTEL 沼津駅前
住所	静岡県沼津市高島町7-2
アクセス	JR沼津駅北口改札口から徒歩2分、 新東名長泉沼津IC・東名沼津ICから車で15分
構造	地上8階
客室数	92室
設備	付帯施設：レストラン・テナント3店 (BAR・マッサージ・パーソナルジム)



ホテル概要	
名称	KOKO HOTEL 沼津インター
住所	静岡県沼津市足高275-1
アクセス	東名沼津ICから約1分
構造	地上10階
客室数	151室
設備	レストラン・大浴場・サウナ
駐車場	145台（大型バス駐車可）

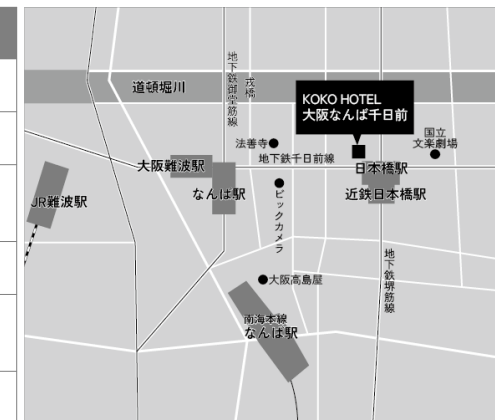


外部成長：開業ホテル（大阪なんば 千日前）

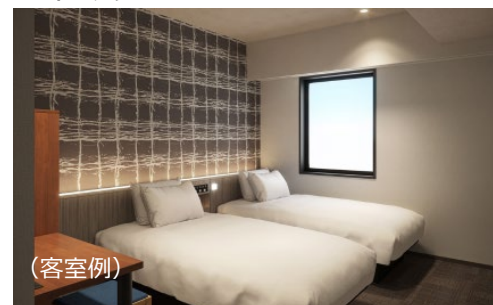
インバウンド需要が高まる大阪の駅前好立地で300室超の大型ホテル



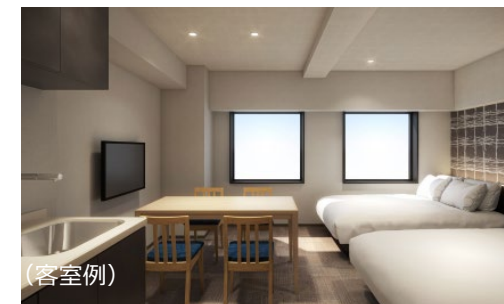
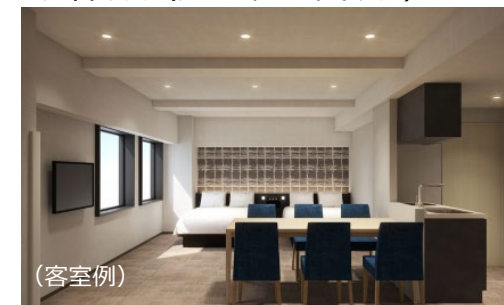
ホテル概要	
名称	KOKO HOTEL 大阪なんば 千日前
住所	大阪府大阪市中央区千日前1-3-7
アクセス	近鉄線／大阪メロ（堺筋線／千日前線）日本橋駅 2号出口より徒歩1分
構造	地上14階
客室数	320室 メインタワー：255室、アネックス：65室
設備	レストラン（メインタワー1階）



メインタワー



アネックス（アパートメントホテル）

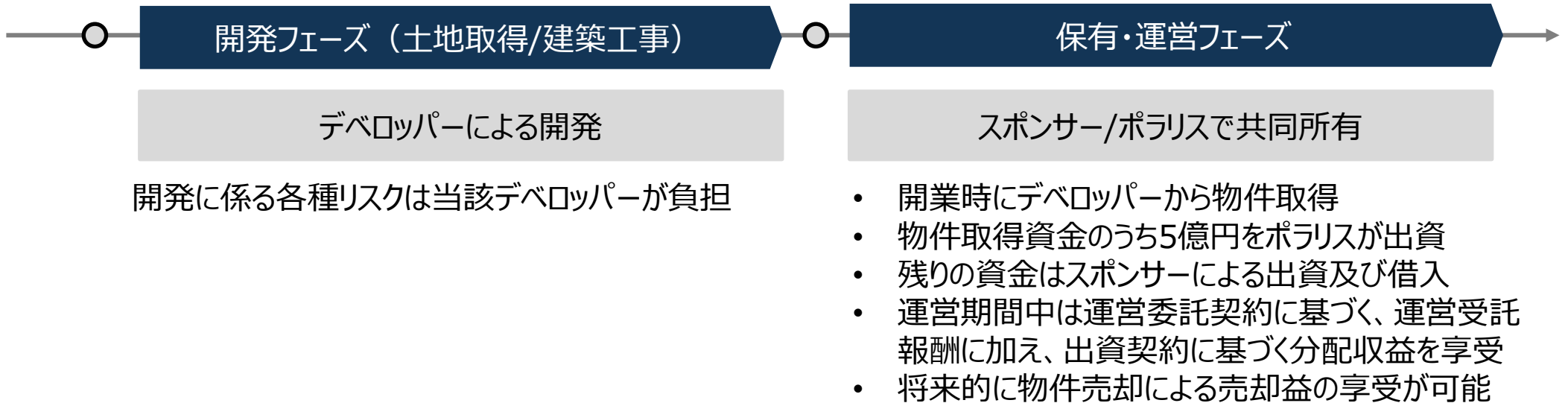


外部成長：大阪なんば 千日前への戦略的出資

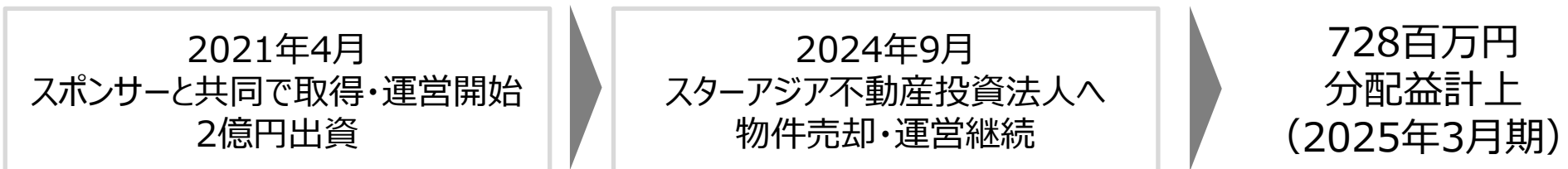
スターアジアグループと共同で新築ホテルを取得し、当社は戦略的に5億円を出資
スターアジアグループとのエコシステムを活用した取り組み

2023年8月/10月
運営委託契約締結

2025年5月
竣工・開業



(ご参考) KOKO HOTEL 築地 銀座の事例



外部成長：新たなホテルタイプへの積極的な取り組み

多様なホテルタイプを受託し、出店機会の拡大・運営能力の向上を目指す

アップスケール・スモールラグジュアリーホテル



スモールラグジュアリーホテル（2025年7月運営開始）
「ホテルふたり木もれ陽」

アップスケールクラスホテル（2025年9月運営開始予定）
「yugen kyoto shijo」

アパートメントホテル

運営中

KOKO HOTEL Residence 浅草田原町
KOKO HOTEL Residence 浅草かつぱ橋
KOKO HOTEL Residence 京都 二条城
KOKO HOTEL 大阪なんば 千日前（別館）

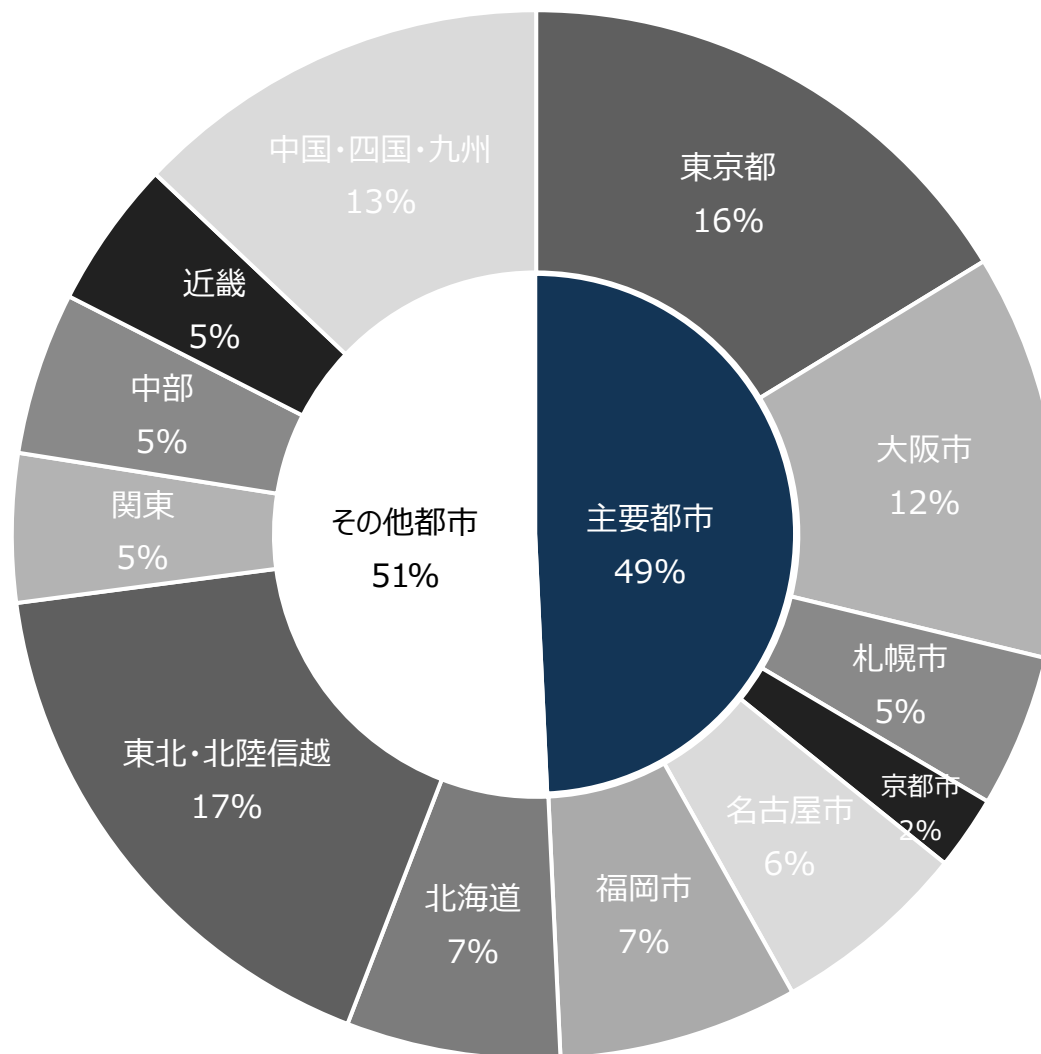
新規開業予定

KOKO HOTEL Residence 押上（仮称）
KOKO HOTEL Residence 北上野（仮称）
KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町Ⅰ（仮称）
KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町Ⅱ（仮称）
KOKO HOTEL Residence 本所吾妻橋（仮称）
KOKO HOTEL Residence 東京京橋（仮称）

2025年7月末現在

主要都市と今後インバウンドの増加が期待できる地方都市にバランスよく分散

国内ホテルエリア別シェア

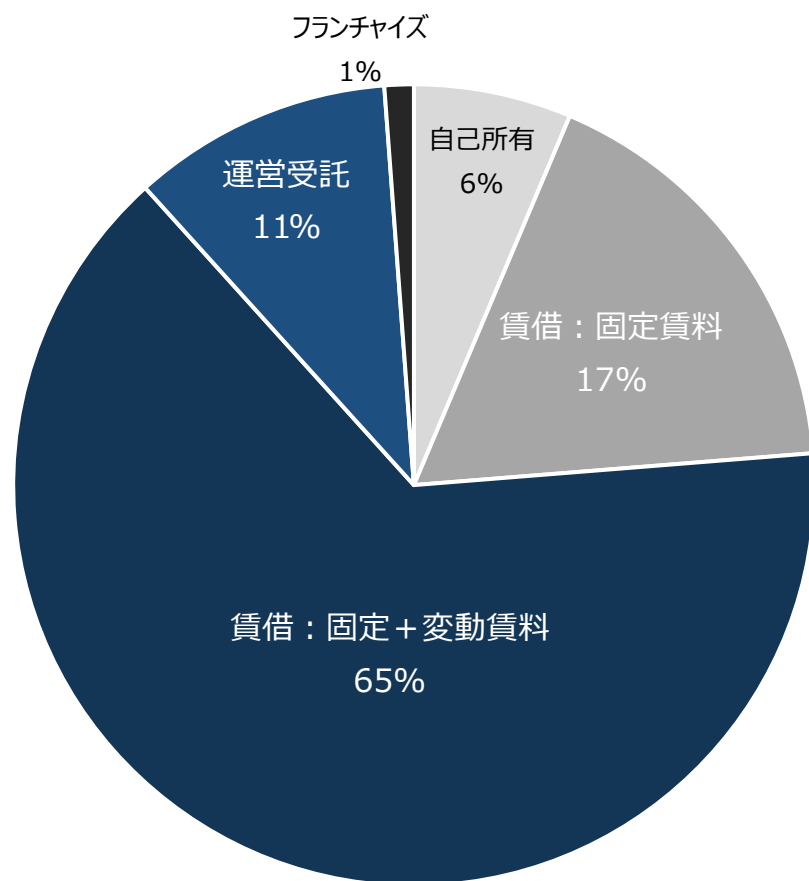


注：運営客室数ベース。
2025年6月末現在

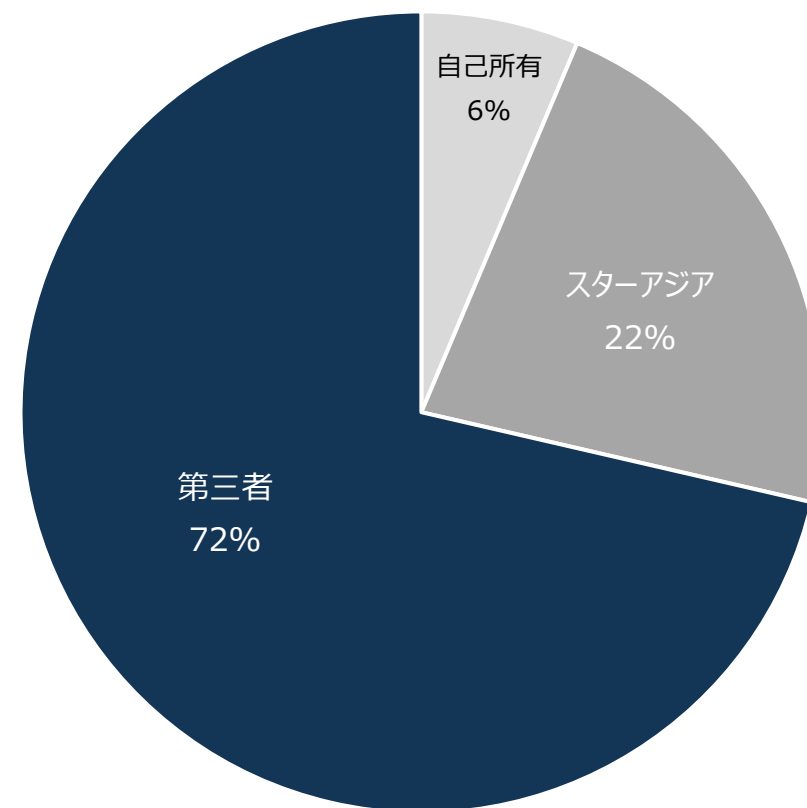
外部成長：運営ホテルのポートフォリオミックス

成長を取り込みつつダウンサイドに強いポートフォリオを構築。また、多様な第三者オーナーとの関係が、新たな出店機会の獲得につながっている

契約形態別シェア



オーナー種別シェア



注：運営客室数ベース。
2025年6月末現在

2024年12月にミナシアを買収し、PMI（買収後統合プロセス）が順調に進行



ブランド統合

- ミナシアのブランドは2025年9月以降に順次、KOKO HOTELブランドに統合
- 7月より共通ポイントプログラムを開始し、チェーンメリットを創出
- 10月以降、共通サービス、新ロイヤリティプログラムを導入予定

運営の効率化

- アメニティ等の仕入れを見直し、仕様を統一、コスト削減を実行
- 運営関連の契約を見直し、クオリティ向上、コスト削減につながるものを実行
- 運営ルールの統一・改善等、チェーン全体で運営ノウハウを共有する体制を構築

組織の強化

- 経営体制の刷新・組織改編を行い、PMIを加速させる体制へシフト
- 10月に両社の本社オフィスを集約し、新たなオフィスへ移転予定
- 両社の人事制度を踏まえた新人事・評価制度を策定

ブランド統合により、マーケティングに係るリソースを集約し、認知度アップを図る戦略

ポラリス / 25ホテル

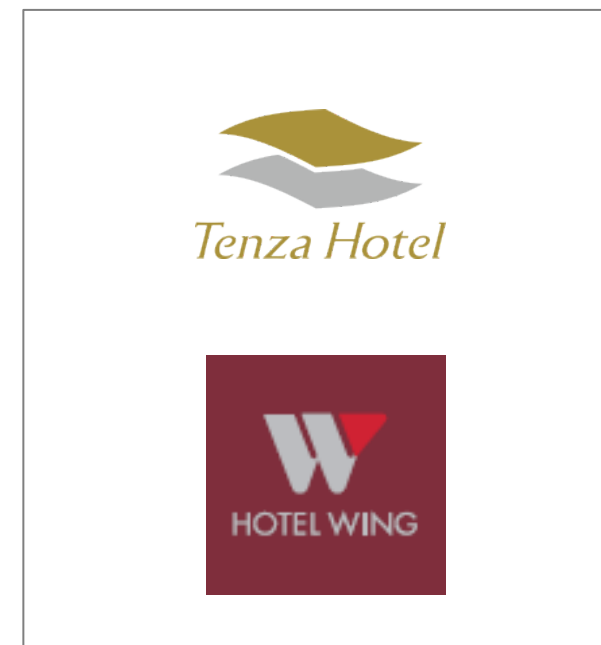


×

新生
KOKO HOTELS

63ホテル

ミナシア / 38ホテル



消費者のニーズ変化を踏まえてコンセプトを再構築し、サブブランドを整理

新ブランドコンセプト・タグライン



KOKO HOTELSは、ただ泊まるだけではなく、
新しい発見が生まれる「旅の始まり」の場所でありたい。
その土地の食や文化、人々との出会いを通じて、
今まで気づけなかった、心ときめく体験を。

ブランド構成

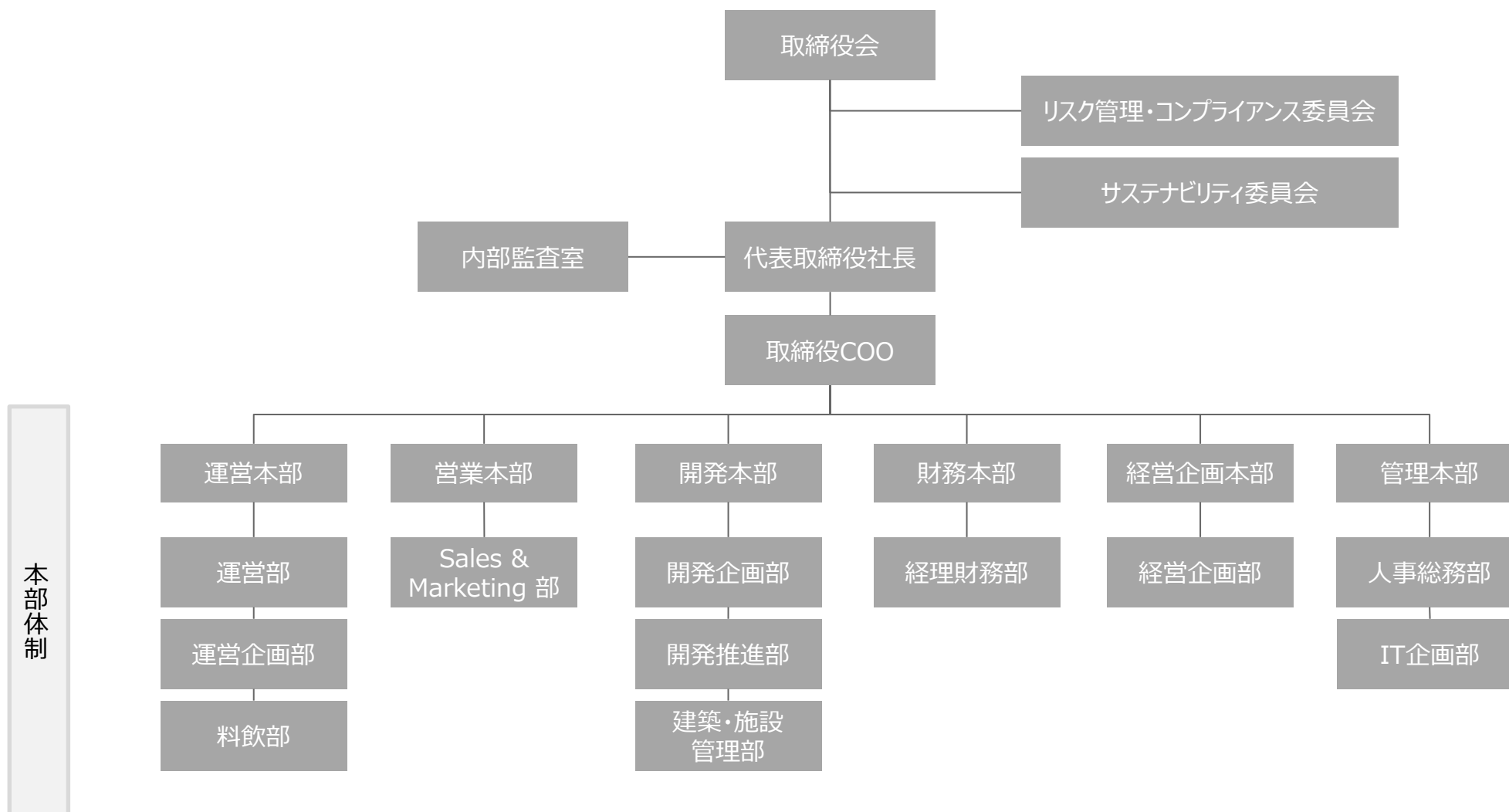


経営統合：リピーター獲得の強化

リピーター獲得のため、両社共通の新WEB会員プログラムを導入

経営統合：PMI推進に向けた組織強化

両社の本部体制を統合する組織再編を行い、10月には本社オフィス統合予定



株主価値向上：上場維持基準への適合

大株主であるスターアジアグループが保有株式の一部を第三者へ譲渡したことで、流通株式比率は大幅に改善し、上場維持基準適合の25%まであとわずか

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
2025年3月31日	10,353人	352,652単位	71億円	15.0%
2025年6月30日	—	—	—	23.2%
適合状況	適合	適合	適合	改善中



The diagram shows a yellow box with '+8.2%' and arrows indicating the increase from 15.0% (March 31, 2025) to 23.2% (June 30, 2025).

注：スターアジアグループが保有する株式数に基づき当社にて算出。

継続的な配当の実施及び新株主優待制度（宿泊割引）を開始

配当

2025年3月期（実績） 1株当たり**3円**

2026年3月期（予想） 1株当たり**3円**

配当政策

公平かつ有効な株主還元策として、業績に応じた剰余金の配当を利益還元の基本方針とする。

連結配当性向

中期経営計画に定める定量的な目標として連結配当性向30%を目指す。

株主優待



目的

株主の皆様にご当社グループホテルでの宿泊機会を創出し、当社を中長期的に応援していただける株主様を増やす。

宿泊割引券

当社グループ運営ホテルを対象とした宿泊割引券を保有株式数に応じて配布する新たな優待制度

対象ホテル

経営統合を行ったミナシアの運営ホテルを含む全国のホテルを割引料金で宿泊できる株主優待制度

株主優待サイト

https://www.polarix-holdings.com/ir-kabunushi_yutai/

Appendix

会社概要：株式情報（2025年3月31日時点）

会社概要

商号	ポリス・ホールディングス株式会社
設立年月日	1912年9月20日
本社所在地	東京都千代田区岩本町一丁目12-3
資本金	10百万円
純資産（連結）	28,329百万円
従業員（連結）	1,795名
事業内容	ホテル運営事業、ホテル投資事業
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場）
	証券コード 3010
会計監査人	誠栄有限責任監査法人

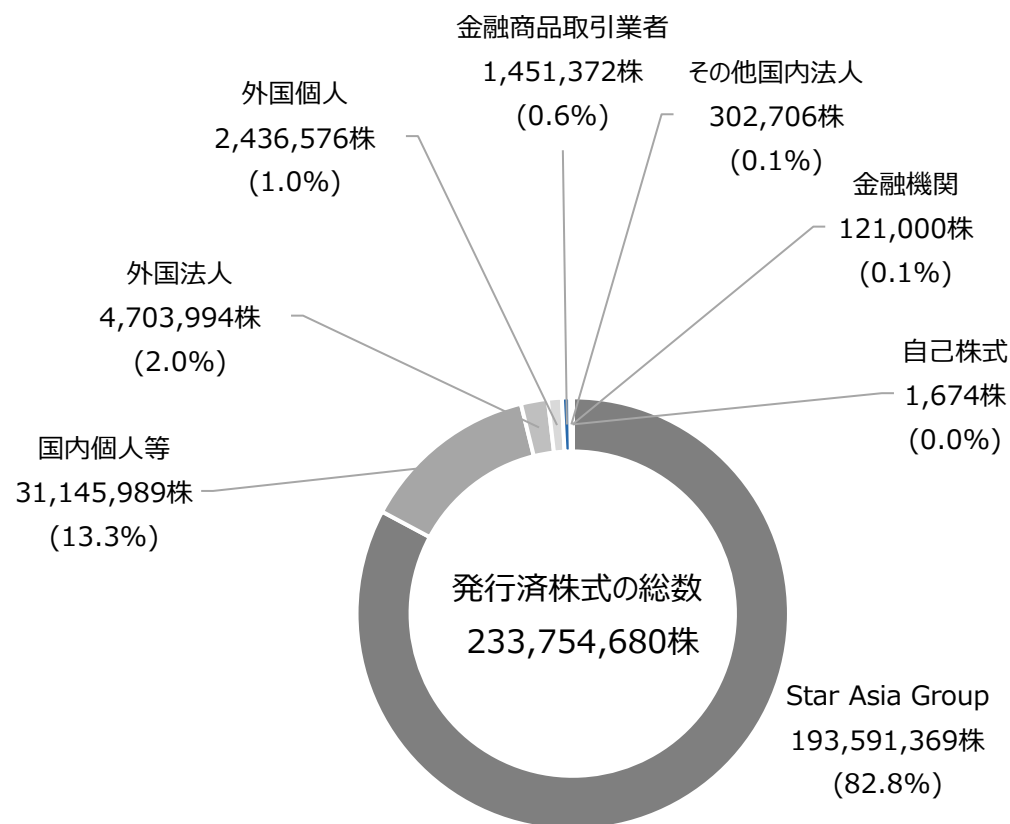
株式・株主状況

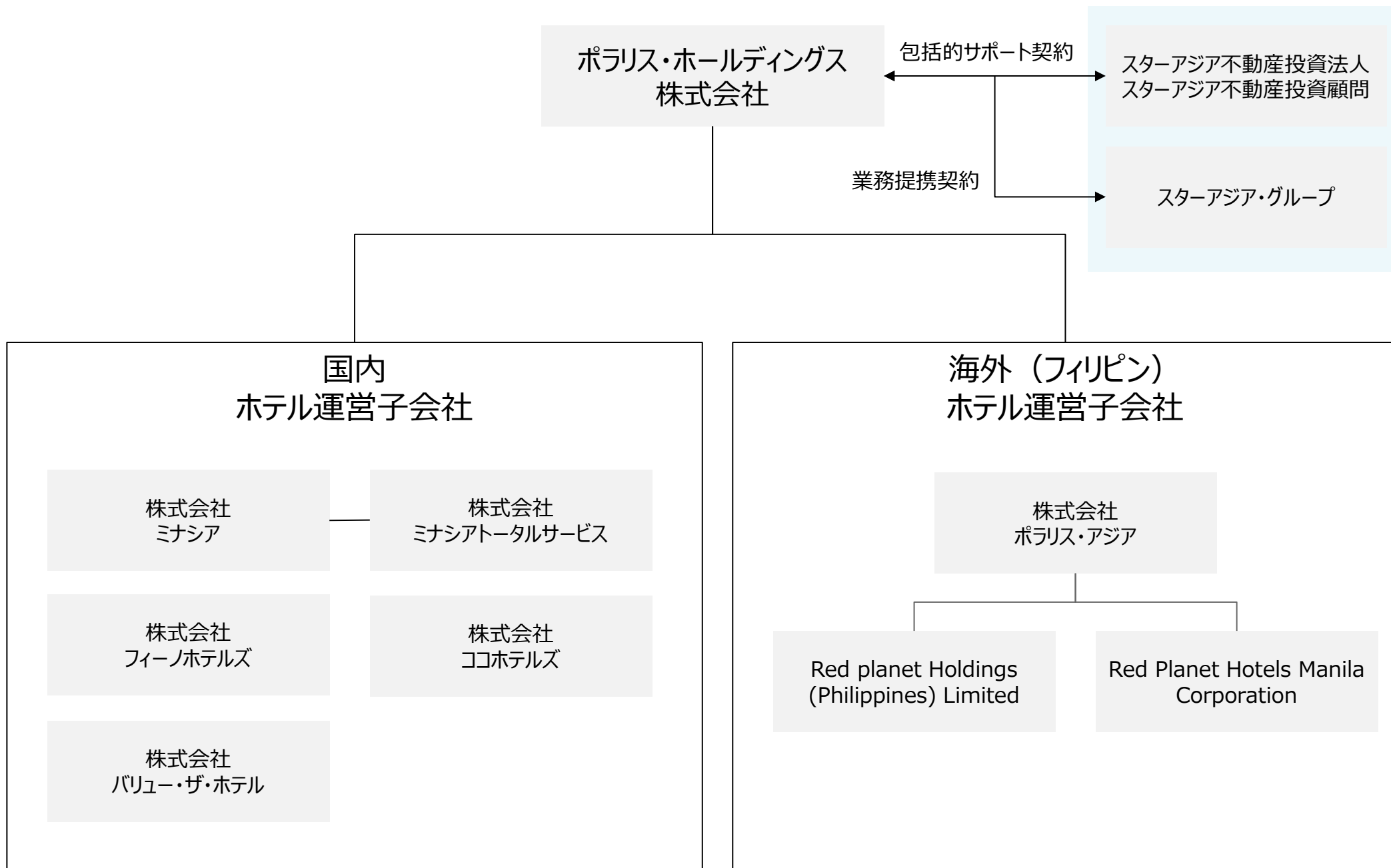
発行する株式の内容	普通株式
発行可能株式総数	496,000,000株
発行株式の総数	233,754,680株
総株主数	10,353名

主要株主

株主名	株式数	持株比率
SAJP VI 3.0 LP	105,820,691株	45.27%
Star Asia Opportunity III LP	87,770,678株	37.54%

所有者別株式分布





マネジメントチーム (1/2)

多様な経験と能力が融合して成長を加速する



高倉 茂 取締役会長

ヒルトンインターナショナル、シエラトン、マリオットの外資系ホテルで総支配人・日本韓国 Guam 地区セールスマーケティング担当本部長・副社長を歴任。その後、当社の前身である価値開発株式会社で代表取締役社長等に歴任。慶應義塾大学商学部卒業。国内外ホテル業界における知見と幅広い人脈で当社の成長に貢献する。



田口 洋平 代表取締役社長

アクセンチュアで金融業界向けITコンサルティングを担当した後、星野リゾートにてホテル運営・マーケティング業務に従事。その後、ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ及びいちご投資顧問にてホテルリートのアセットマネジメント業務等を経験してスターアジアグループに参画。2022年より当社取締役として運営・開発事業を統括し、代表取締役社長に就任。慶應義塾大学商学部卒業。ホテルの投資・運営両面における豊富な経験をもとに当社の成長を牽引する。



下嶋 一義 取締役兼最高執行責任者／営業本部長兼運営本部長

少年期をオーストラリア、アメリカ、スイスで過ごす。大学卒業後に東京急行電鉄にて海外ホテル事業及びグループ政策に従事した後、フューチャーブランドにてコンサルタントとしてブランド戦略業務を担当。以降、ソラーレホテルズアンドリゾーツのマーケティング本部長、アゴダイナミクスインターナショナルのカントリーダイレクター、楽天トラベルの国際事業部副部長、グルーポンジャパンのトラベル事業本部長、TrustYouの代表取締役社長等を歴任。2021年にミナシア代表取締役社長に就任し、2025年より当社取締役最高執行責任者。慶應義塾大学法学部卒業。

長年のオンライン・リアル両面の国内外の旅行・宿泊企業運営での幅広い経験で当社の成長を支える。



細野 敏 取締役兼最高財務責任者／財務本部長

大和証券、オリックスにて融資・証券業務を経験後、みずほ証券では不動産金融部門と金融ソリューション部門でABSやCMBSなどのストラクチャード・ファイナンス関連業務及に従事。その後、ザイマックスグループにて不動産案件発掘、取得、売却を含む不動産投資関連業務を経験し、2015年にスターアジアグループに入社。2018年の当社執行役員就任以来、最高執行責任者、最高財務責任者等を歴任。立命館大学経済学部卒業。日本証券アナリスト協会検定会員、不動産証券化協会認定マスター。

資本市場とのコミュニケーション、金融業界の幅広い知見をもとに当社成長に貢献する。



辻川 高寛 取締役開発本部長

ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ、PAGインベストメント・マネジメント、パノラマ・ホスピタリティなどのリート、不動産ファンドの資産運用会社等において、様々なホテル投資及びアセットマネジメント業務、グローバルホテルオペレーターとの運営委託・フランチャイズ契約等の交渉・締結業務に従事。その後、ジョーンズ・ラング・ラサールのホテルズ & ホスピタリティ事業部の日本における代表を務め、2023年に当社に入社し取締役に就任。国際基督教大学教養学部卒業。宅地建物取引士、公認不動産コンサルティングマスター。不動産投資業界における幅広い知見と高度なスキルで当社成長に貢献する。



俵 健太郎 取締役経営企画本部長

日本債券信用銀行本店・ロンドン支店、大和証券SMBCにて国内・欧州の融資、企業再生を担当した後、事業会社役員として投資先・支援先の介護施設企業経営、ファッションブランドのミラノ本社財務再建、政策提言シンクタンクでの政党政治検証プロジェクト運営等、多様な業務を担う。その後、ホテル予約システム大手企業を経て、新興ホテルチェーンの創業メンバーとして経営企画を担当、2025年に当社取締役に就任。東京大学工学部卒業、ケンブリッジ大学不動産経済学部修士課程修了。貸金業取扱主任者。国内外の多様な業界の知見と成長ホテル企業の経営企画経験をもとに当社の成長に貢献する。



松崎 充宏 取締役管理本部長

不動産デベロッパーのエドケンに入社、関連会社で現在のミナシアの元となるホテル運営会社へ出向してホテル運営業務全般を経験し、2000年にフォース（現ミナシア）設立時に代表取締役に就任してホテル事業の拡大に尽力。2021年にミナシア代表取締役副社長を務め、2024年から当社取締役に就任。東京大学農学部卒業。宅地建物取引士。不動産開発とホテル業界における30年以上の運営経験を持つホテルプロフェッショナルとして当社成長に貢献する。



ジョセフ・アルトワッサー 取締役

ソロモン・スミス・バーニー証券にてJ-REIT市場の誕生に深く関与。以降、国内外の投資銀行で主にセールス・リサーチ分野に従事。KBC証券、メリルリンチ証券ディレクターとしてシンガポール駐在後に日本に戻り、SMBC日興証券にて営業部門副本部長、みずほ証券で不動産スペシャリストを歴任。2019年よりスターアジアグループにてマーケティング及び事業開発部門責任者に就任、株式公開における投資家基盤の拡充に注力。2025年に当社取締役に就任。ブリティッシュコロンビア大学国際関係学学士・経営学修士課程修了。国内外の証券業界の知見と幅広い人脈で当社と投資家の橋渡しを行う。

中期経営計画（2024年度から2026年度）における数値目標

財務数値

売上高

490億円

営業利益

37億円

親会社株主に帰属する
当期純利益

27億円

営業利益
平均成長率

40%

資本効率

ROE

15%

株主還元

連結配当性向

30%

ホテル運営

運営客室数

15,000室

運営ホテル数

100ホテル

国内運営ホテルマップ

91ホテル / 13,034室

2025年6月末時点（運営予定ホテル含む）

	ホテル数	客室数
北海道	7	1,282
東北・北陸信越	11	2,051
関東	30	3,572
中部	9	1,269
近畿	18	2,252
中国・四国・九州	14	2,303
沖縄	2	305

関西

- KAYA 京都 二条城 BWシグネチャーコレクション byベストウェスタン
- シュアステイプラスホテル by ベストウェスタン新大阪
- ベストウェスタン大阪塚本
- ベストウェスタンプラスホテルフィノ大阪北浜
- ベストウェスタンホテルフィノ大阪心斎橋
- KOKO HOTEL 神戸三宮
- KOKO HOTEL 大阪なんば 恵美須町
- KOKO HOTEL 大阪心斎橋
- KOKO HOTEL Residence 京都 二条城
- KOKO HOTEL 大阪なんば 千日前
- yugen kyoto shijo
- ホテルウイングインターナショナルプレミアム 大阪新世界
- ホテルウイングインターナショナルプレミアム 京都三条
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 大阪梅田
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 東大阪
- ホテルウイングインターナショナル 姫路
- ホテルウイングインターナショナル 神戸新長田駅前
- ホテルウイングインターナショナル 京都四条烏丸

北海道

- KOKO HOTEL 札幌大通
- KOKO HOTEL 札幌駅前
- ベストウェスタンプラスホテルフィノ千歳
- ホテルウイングインターナショナル 札幌すすきの
- ホテルウイングインターナショナル 千歳
- ホテルウイングインターナショナル 苫小牧
- ホテルウイングインターナショナル 旭川駅前

東北・北陸信越

- KOKO HOTEL 仙台勾当台公園
- KOKO HOTEL 仙台駅前West
- KOKO HOTEL 仙台駅前South
- KOKO HOTEL 仙台駅前Central
- バリユー・ザ・ホテル仙台名取
- バリユー・ザ・ホテル石巻
- バリユー・ザ・ホテル榴葉木戸駅前
- バリユー・ザ・ホテル東松島矢本
- ホテルウイングインターナショナル 須賀川
- ホテルウイングインターナショナルプレミアム 金沢駅前
- KOKO HOTEL Premier 金沢香林坊

関東

- ベストウェスタンホテルフィノ東京赤坂
- ベストウェスタンホテルフィノ新横浜
- KOKO HOTEL Residence 浅草かっぱ橋
- KOKO HOTEL Residence 浅草田原町
- KOKO HOTEL Premier 日本橋浜町
- KOKO HOTEL 銀座一丁目
- KOKO HOTEL 築地 銀座
- KOKO HOTEL 東京西葛西
- KOKO HOTEL 横浜鶴見
- KOKO HOTEL 海浜幕張
- KOKO HOTEL Residence 押上
- KOKO HOTEL Residence 北上野
- KOKO HOTEL 水戸駅前
- KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町 I
- KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町 II
- KOKO HOTEL Residence 本所吾妻橋
- KOKO HOTEL Residence 東京京橋
- KOKO HOTEL 大森駅前
- ホテルウイングインターナショナルプレミアム 東京四谷
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 上野・御徒町
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 浅草駒形
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 池袋
- ホテルウイングインターナショナル 日立
- ホテルウイングインターナショナル 鹿嶋
- ホテルウイングインターナショナル 新橋御成門
- ホテルウイングインターナショナル 池袋
- ホテルウイングインターナショナル 後楽園
- ホテルウイングインターナショナル 東京赤羽
- ホテルウイングインターナショナル 相模原
- ホテルウイングインターナショナル 湘南藤沢

中国・四国・九州

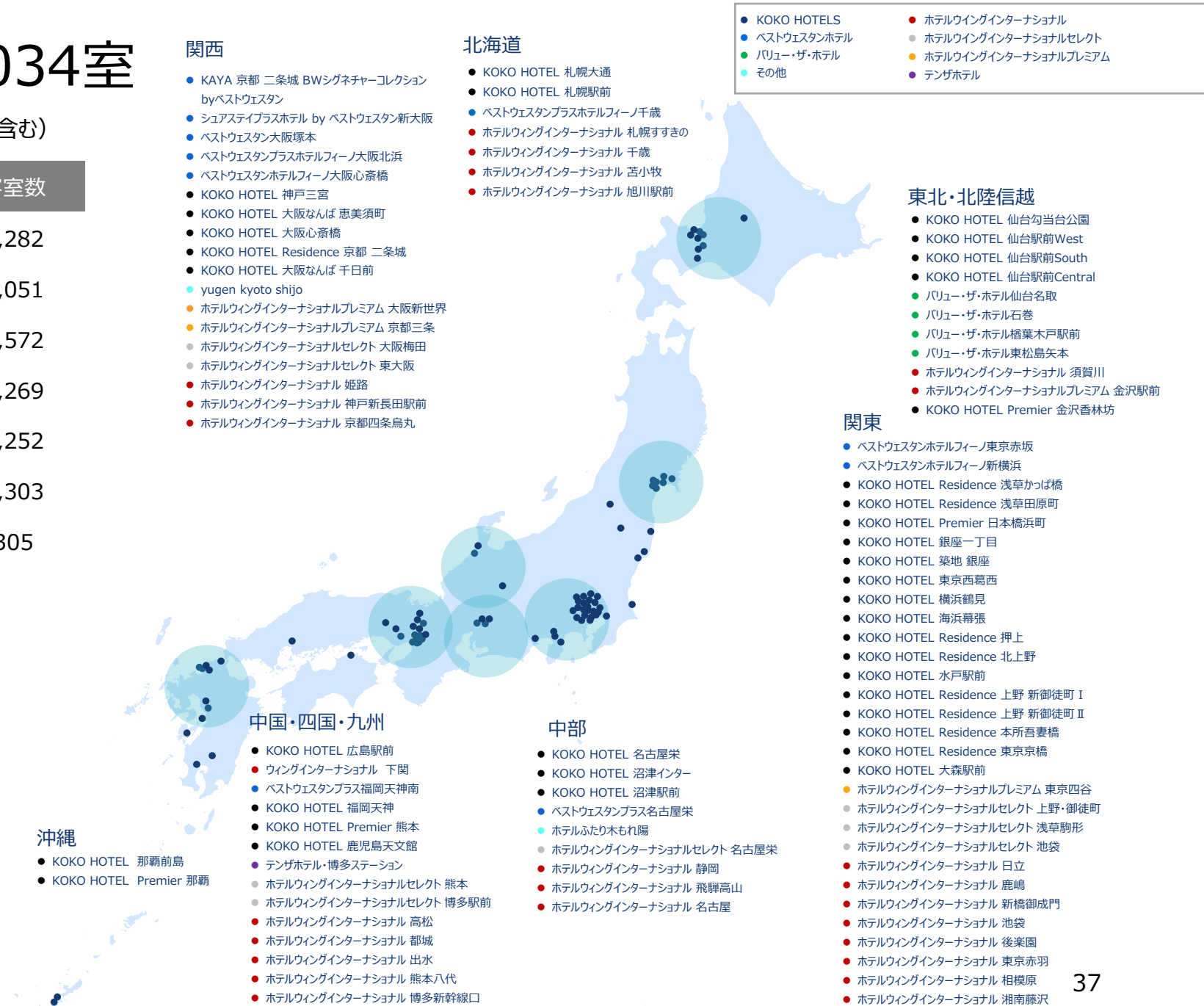
- KOKO HOTEL 広島駅前
- ウイングインターナショナル 下関
- ベストウェスタンプラス福岡天神南
- KOKO HOTEL 福岡天神
- KOKO HOTEL Premier 熊本
- KOKO HOTEL 鹿児島天文館
- テンザホテル・博多ステーション
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 熊本
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 博多駅前
- ホテルウイングインターナショナル 高松
- ホテルウイングインターナショナル 都城
- ホテルウイングインターナショナル 出水
- ホテルウイングインターナショナル 熊本八代
- ホテルウイングインターナショナル 博多新幹線口

中部

- KOKO HOTEL 名古屋栄
- KOKO HOTEL 沼津インター
- KOKO HOTEL 沼津駅前
- ベストウェスタンプラス名古屋栄
- ホテルふたり木もれ陽
- ホテルウイングインターナショナルセレクト 名古屋栄
- ホテルウイングインターナショナル 静岡
- ホテルウイングインターナショナル 飛騨高山
- ホテルウイングインターナショナル 名古屋

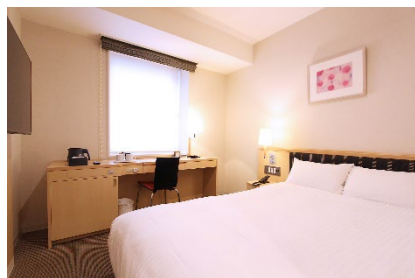
沖縄

- KOKO HOTEL 那覇前島
- KOKO HOTEL Premier 那覇

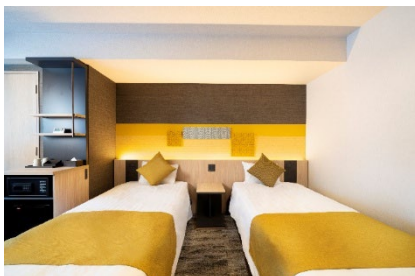


KOKO HOTEL

KOKO HOTELは、全国の主要都市に展開する宿泊特化型ホテル。利便性・機能性・快適性を兼ね備え、ビジネスや観光など多様なニーズに対応する。



KOKO HOTEL 築地 銀座



KOKO HOTEL 築地 銀座

KOKO HOTEL Premier

KOKO HOTELブランドの上位ラインで、上質な空間とサービスを提供する宿泊特化型ホテル。レストランも備えており、朝食ビュッフェを楽しむことも可能。ゆとりある客室や充実したアメニティをご用意。



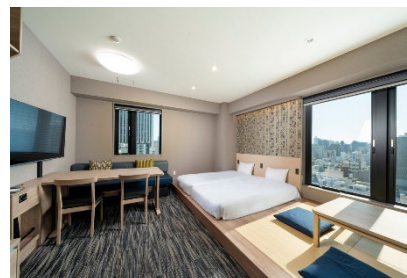
KOKO HOTEL Premier 金沢



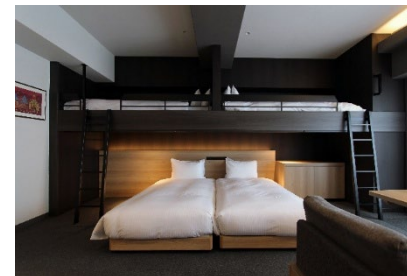
KOKO HOTEL Premier 熊本

KOKO HOTEL Residence

KOKO HOTELブランドのレジデンスタイプのホテル。長期滞在やグループ利用に最適で、キッチンや洗濯機付きの広い客室で、自宅のように快適に過ごせる。



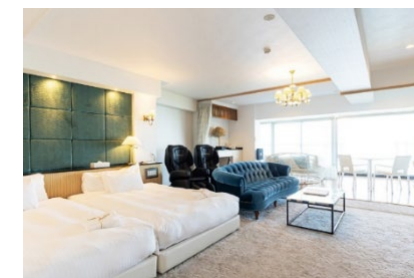
KOKO HOTEL Residence 浅草 かつば橋



KOKO HOTEL Residence 京都 二条城

Luxury

ポラリス・ホールディングスが運営する最上位のラグジュアリータイプのホテル。洗練された空間とパーソナルサービスを備え、特別な滞在体験を提供する。



ホテルふたり木もれ陽

国内宿泊特化型ホテル 客室数ランキング

No.	運営会社	ブランド名	上場/ 非上場	ホテル数	部屋数
1	東横イン	東横イン	非上場	355	78,144
2	アパ	アパホテル	非上場	326	73,113
3	ルートインジャパン	ホテルルートイン	非上場	352	61,974
4	マイステイズホテルマネジメント	マイステイズ / フレックスステイイン / アートホテル	非上場	157	22,700
5	共立メンテナンス	ドーミン / 御宿野乃	上場	136	21,157
6	スーパーホテル	スーパーホテル	非上場	174	19,990
7	グリーンズ	コンフォートホテル / コンフォートイン	上場	118	16,692
8	相鉄ホテルマネジメント	相鉄フレッサイン / ホテルサンルート	非上場	82	15,989
9	大和ハウスリアリティマネジメント	ダイワロイネットホテル	非上場	74	15,685
10	ポラリス・ホールディングス	KOKO HOTEL / ベストウェスタンホテル / バリュー・ザ・ホテル/ ホテルウィングインターナショナル / レッドプラネット 他	上場	105	15,487
11	東急ホテルズ	東急ホテルズ	非上場	70	14,135
12	藤田観光	ホテルグレイスリー / ワシントンホテル	上場	49	11,853
13	ホスピタリティオペレーションズ	スマイルホテル	非上場	87	11,279
14	阪急阪神ホテルズ	レム / 第一ホテル	非上場	39	10,970
15	リブマックス	ホテルリブマックス	非上場	158	10,808
16	JR東日本ホテルズ	ホテルメトロポリタン / ホテルメッツ	非上場	62	10,248
17	三井不動産ホテルマネジメント	三井ガーデンホテル / セレスティン / Sequence	非上場	40	10,062
18	株式会社ホテル・アルファ・ワン事業本社	ホテルα-1	非上場	48	9,542
19	ワシントンホテル	ワシントンホテルプラザ / R&Bホテル	上場	43	9,530
20	ソーレホテル&リゾート	チサンイン / ロワジール	非上場	44	7,516

注 1. 運営客室数順。国内外・フランチャイズも含む。リミテッドサービスホテルをメインで運営しているオペレーターのみ掲載。

2. 会社Webサイト及び月間ホテルアンドレストラン2025年5月号を基に当社作成。

3. 当社の運営ホテル数は2025年6月末時点（海外ホテル及び運営予定含む）。

Booking.com

Traveller Review Awards 2024

世界最大級の宿泊予約サイト Booking.comが毎年実施している表彰制度。受賞は高い顧客満足度を示す信頼の証として、世界中の旅行者からの評価につながる。

Traveller Review Award 2025

- ・レッドブラネットケソン オーロラ・プールバード
- ・レッドブラネットケソン ティモッグ

Traveller Review Award 2024

- ・HWIプレミアム東京四谷 他22ホテル

Traveller Review Award 2023

- ・HWIプレミアム東京四谷 他20ホテル

Traveller Review Award 2022

- ・レッドブラネットケソン オーロラ・プールバード 他5ホテル

※HWI：ホテルウイングインターナショナルの略称。

Tripadvisor Travelers' Choice Awards



Thanks for your support!

「トラベラーズ・チョイス・アワード」は、世界中の旅行者から高く評価された施設に贈られる、トリップアドバイザーによる国際的なアワード。数百万件におよぶ掲載施設の中でも、特に優れたサービスとホスピタリティを提供している施設が選出される。

2024年 トラベラーズ・チョイス・アワード：6ホテル
2023年 トラベラーズ・チョイス・アワード：5ホテル
2022年 トラベラーズ・チョイス・アワード：3ホテル



楽天トラベルアワードは、楽天トラベルに掲載されている宿泊施設の中から、施設のサービス品質、人気、顧客満足度、予約実績などの総合的な評価をもとに選ばれる。

2024年 Silver Award：1ホテル
2023年 Bronze Award：1ホテル
2022年 Gold Award：1ホテル
2022年 Bronze Award：1ホテル

agoda

2024
CUSTOMER
REVIEW AWARD

CUSTOMER REVIEW AWARDは、宿泊予約サイト「Agoda」においてユーザーからのクチコミ評価が「8.0」以上の施設に贈られる。

2024年 30ホテル
2023年 9ホテル
2022年 4ホテル

agoda

2023
GOLD
CIRCLE
AWARD WINNER

「Agoda GOLD CIRCLE AWARD」は、顧客満足度の向上に向けて、柔軟で迅速な在庫管理、魅力的な価格設定、そして洗練されたサービスを実現している施設が選出される。

Agoda GOLD CIRCLE AWARD 2024 7ホテル
Agoda GOLD CIRCLE AWARD 2023 7ホテル

その他受賞

- ・ Top Producing Chain 2025 (Trip.com Group) 1ホテル
- ・ MOST ENGAGED CHAIN 2024 (Trip.com Group) 1ホテル
- ・ ジャルパック セールス賞 (BEST PLANNING) 2023 1ホテル
- ・ じゃらん OF THE YEAR ベストコミュニケーション大賞 2023 1ホテル
- ・ KAYAK Travel Awards 2025 1ホテル
- ・ KAYAK Travel Awards 2024 5ホテル
- ・ KAYAK Travel Awards 2023 2ホテル

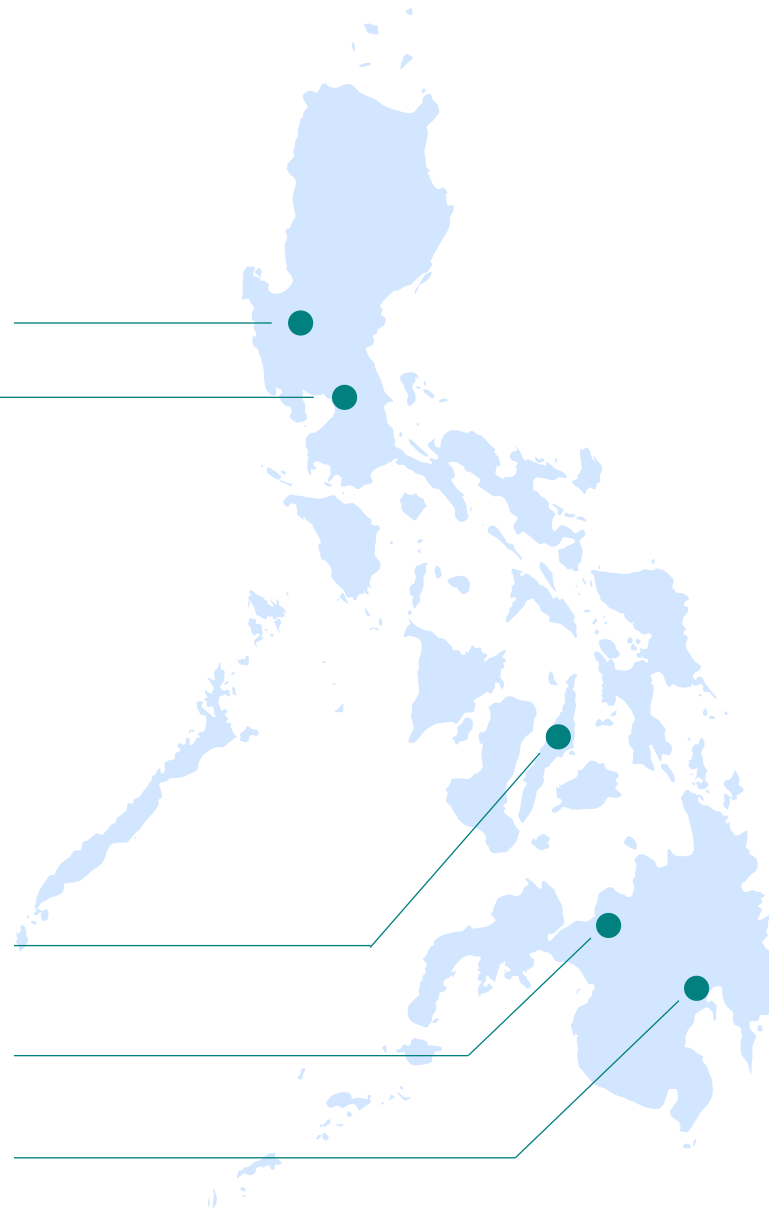
子会社のレッドプラネットホテル、はフィリピンで14ホテルを運営・保有する同国2位（棟数ベース）のリミテッドサービスホテルチェーン

14ホテル / 2,453室

2025年6月末時点



- Red Planet Angeles City 165室
- Red Planet Manila Ortigas 182室
- Red Planet Cubao Aurora Boulevard 167室
- Red Planet Manila Aseana City 200室
- Red Planet Manila Amorsolo 189室
- Red Planet Manila Mabini 167室
- Red Planet Manila Bay 150室
- Red Planet Manila Binondo 171室
- Red Planet Manila Makati 213室
- Red Planet Quezon Timog 140室
- Red Planet BGC The Fort 245室
- Red Planet Cebu 150室
- Red Planet Cagayan de Oro 159室
- Red Planet Davao 155室



人財戦略～“人”こそがブランドを創る～

- ✓ 「多様な人財を確保し、人が定着し、育ち、活躍し続ける会社」こそが、継続的な収益成長と、差別化された顧客体験を生み出す源泉であると私たちは考えます
- ✓ 当社では、“人”を最大の資産と位置づけ、人財戦略を経営の中核に据え、「定着」「育成」「活躍」の好循環を戦略的に強化しています

多様な人材の確保

- ✓ 外国籍や留学生の就労を支援し、グローバル人材を確保
- ✓ 新規出店時等、社内公募や異動による人的リソースの有効活用

定着を高める職場づくり

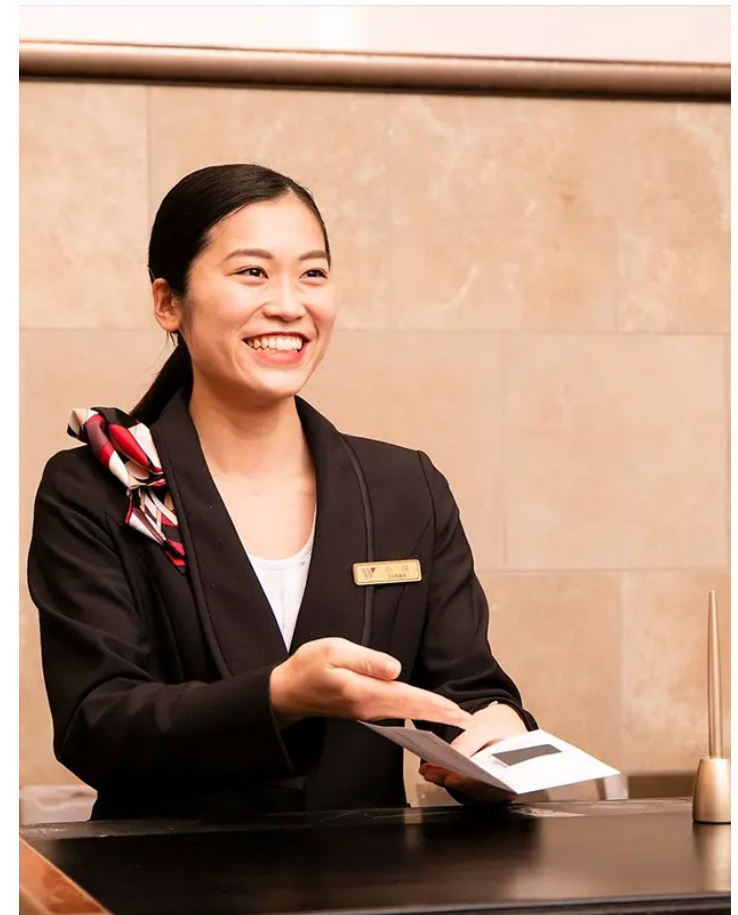
- ✓ 柔軟な働き方と健康経営の推進
- ✓ エンゲージメントサーベイの定期実施と改善アクション

育成とキャリア開発

- ✓ 階層別研修、OJT、メンター制度の体系的整備
- ✓ キャリア申告制度、次世代リーダー層の計画的育成

活躍し続ける文化の醸成

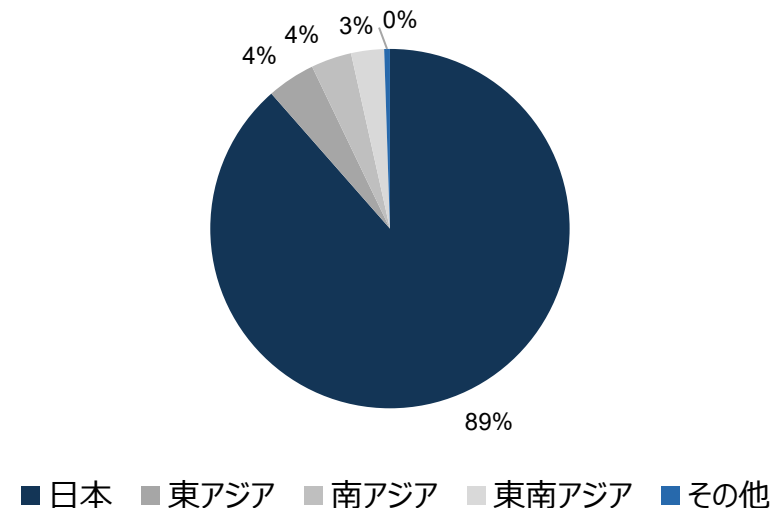
- ✓ 一人ひとりの個性と信頼関係を大切にする文化の醸成
- ✓ 多様な人材による顧客視点のサービス向上



従業員情報（2025年6月末時点）

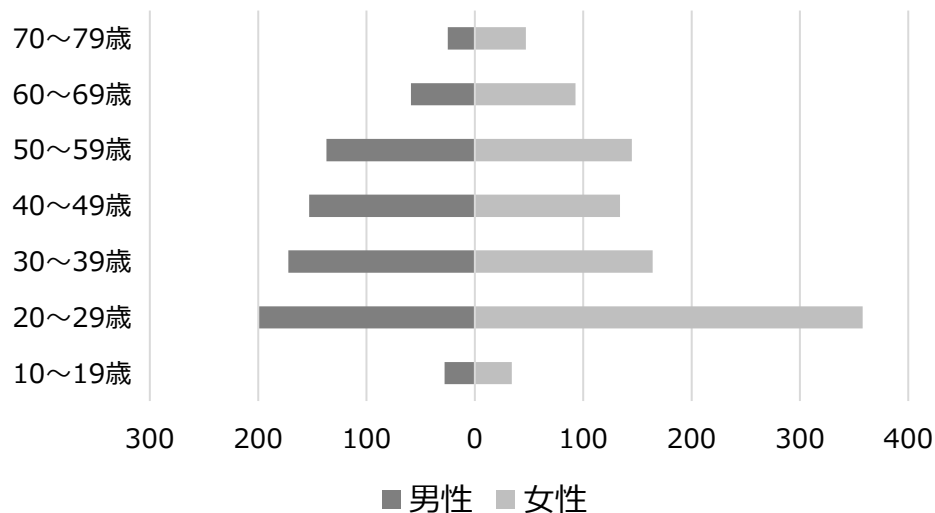
従業員数 (国内のみ)	1,752名 正社員：981名 パート・アルバイト等：771名
男女比	男性44% 女性56%
平均年齢	39.8歳

従業員の国籍分布

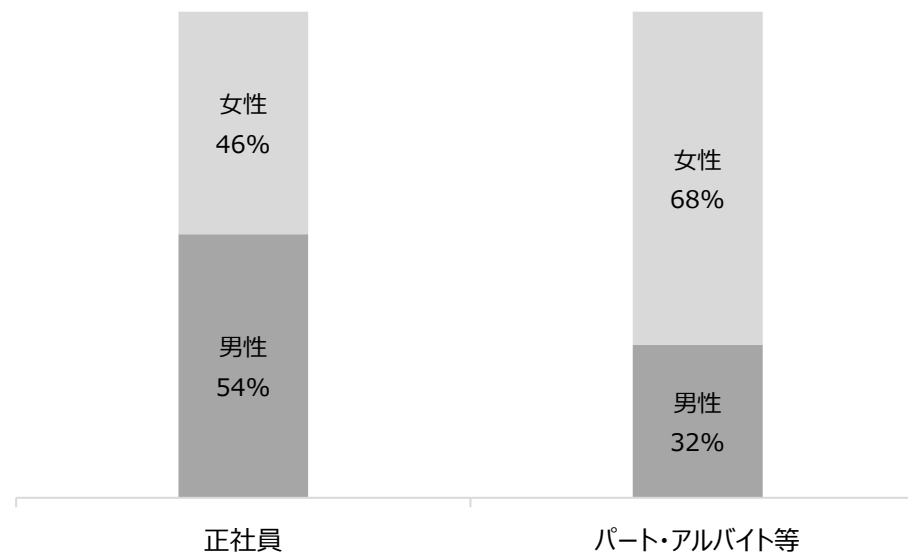


年齢層ごとの男女分布

単位：人

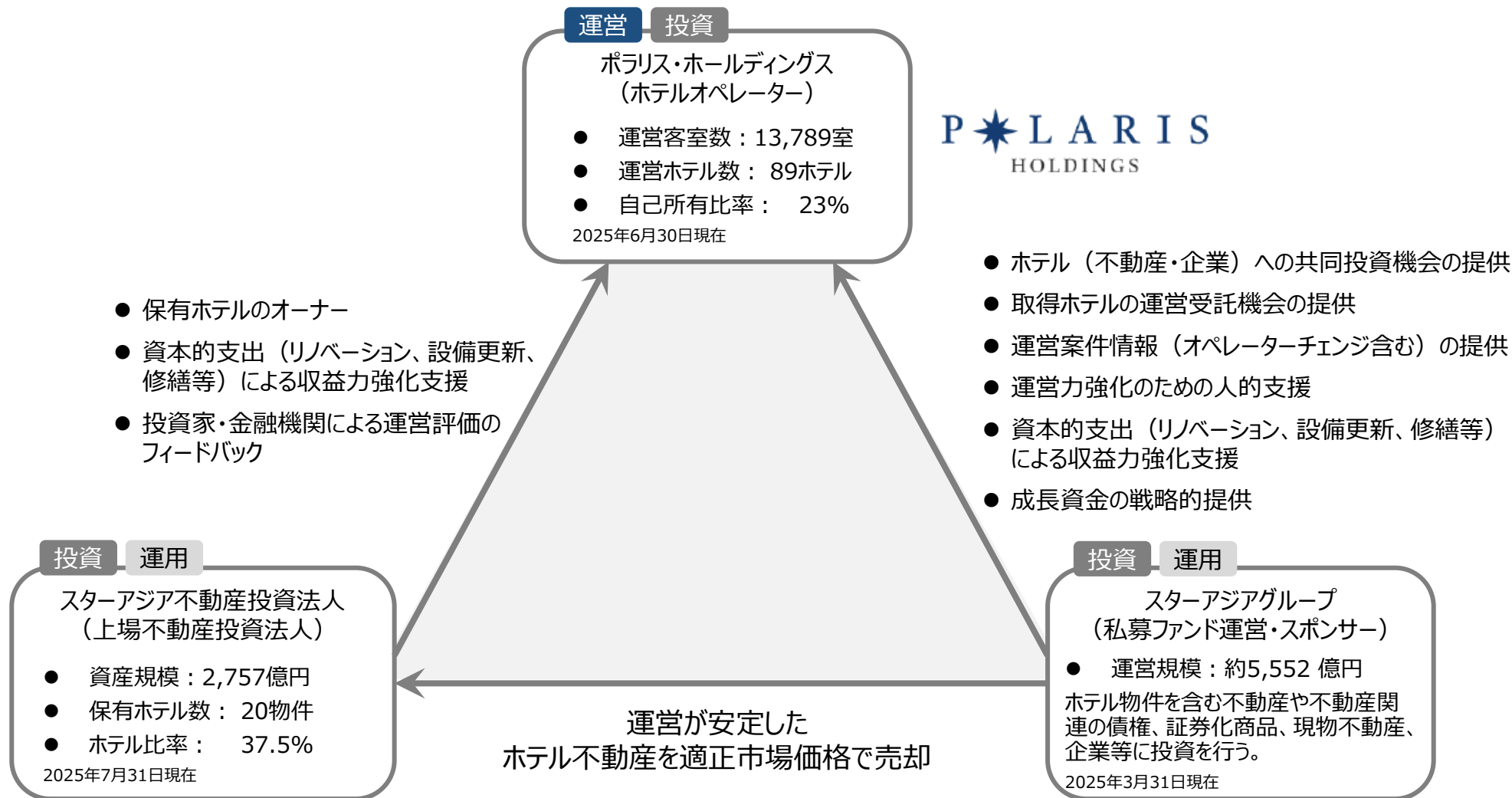


従業員区分ごとの男女比率



スターアジアグループとの協業

スターアジアグループの中核メンバーの1社として、刻々と変化するホテル経営環境の中で機動的に商機を掴み、持続的成長を図る



当社は、環境や地域社会との共存、共栄を可能にする健全な経営が中長期的な企業価値の向上に資すると考え、E（環境）S（社会）G（ガバナンス）への取り組みを通じたサステナビリティの向上に取り組んでいます

当社の掲げるマテリアリティ（重要課題）

環境（Environment）

- ・ 気候変動へのアクション
- ・ 水資源の保全、自然環境・生態系への配慮

社会（Social）

- ・ 良好なステークホルダーとの関係性の構築
- ・ 人権の尊重と人財育成

ガバナンス（Governance）

- ・ 健全な企業統治体制の構築
- ・ コンプライアンス経営

✓ 福島県須賀川市との連携協定

2022年より須賀川市と連携協定を締結し、地域の課題である耕作放棄地の有効活用として、にんにく栽培を行っています。今年も多くのにんにくが収穫できましたので、レストランで提供しています。

✓ 山梨県笛吹市で植樹体験

「ミライの木」プロジェクトの一環として、今年も新入社員の皆さんとともに、植樹活動を行いました。

「ミライの木」プロジェクト

ホテル宿泊時には歯ブラシ、カミソリ、ヘアブラシなどを持参してアメニティを使用しないでゴミを減らす、地域環境保全に配慮した「エコ清掃」に協力するなど、お客様のecoアクションを無駄にせず、見える化して次のアクションに繋げるプロジェクト

福島県須賀川市でのにんにく収穫

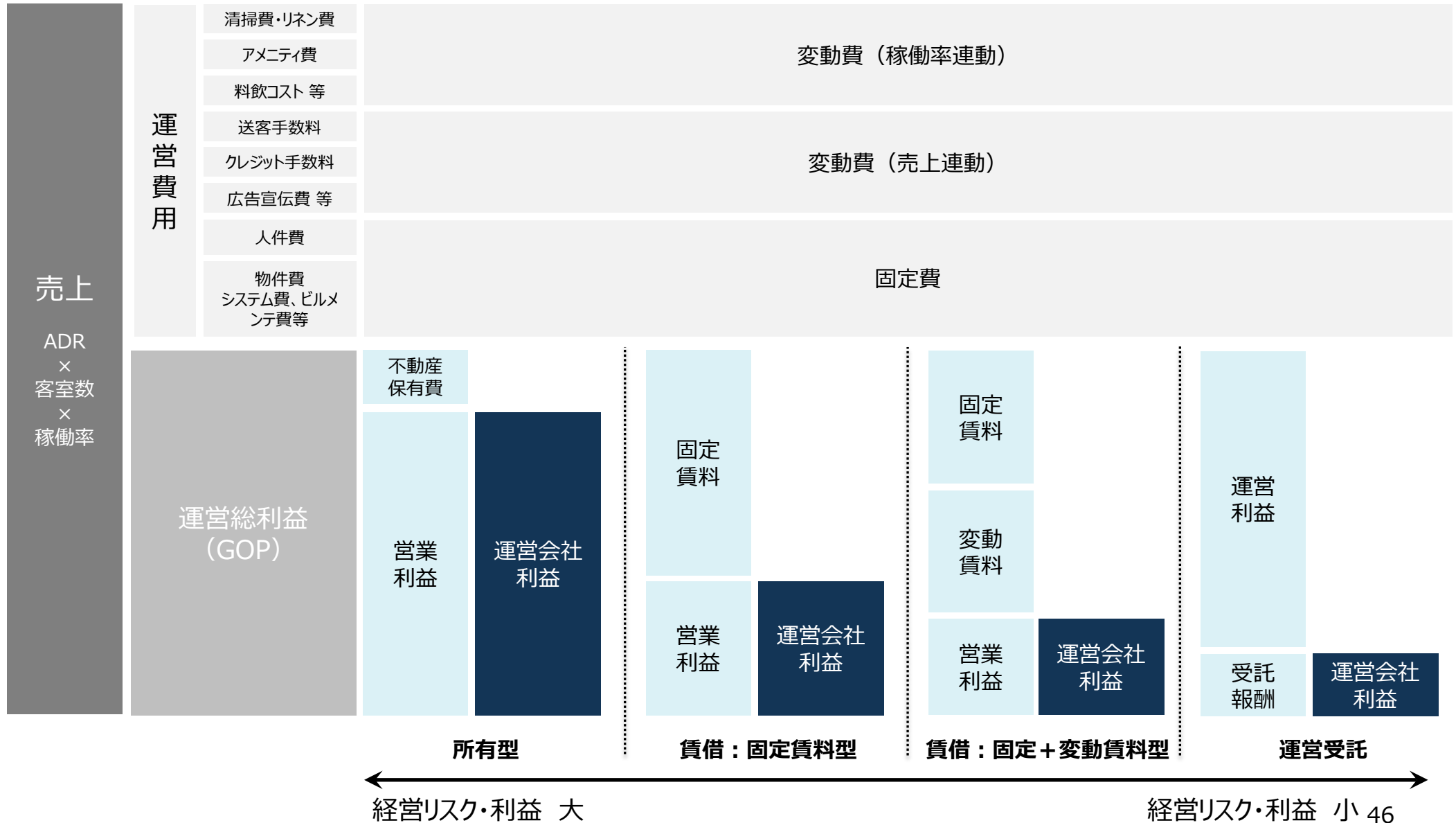


「ミライの木」プロジェクト



ホテルの収益構造（参考）

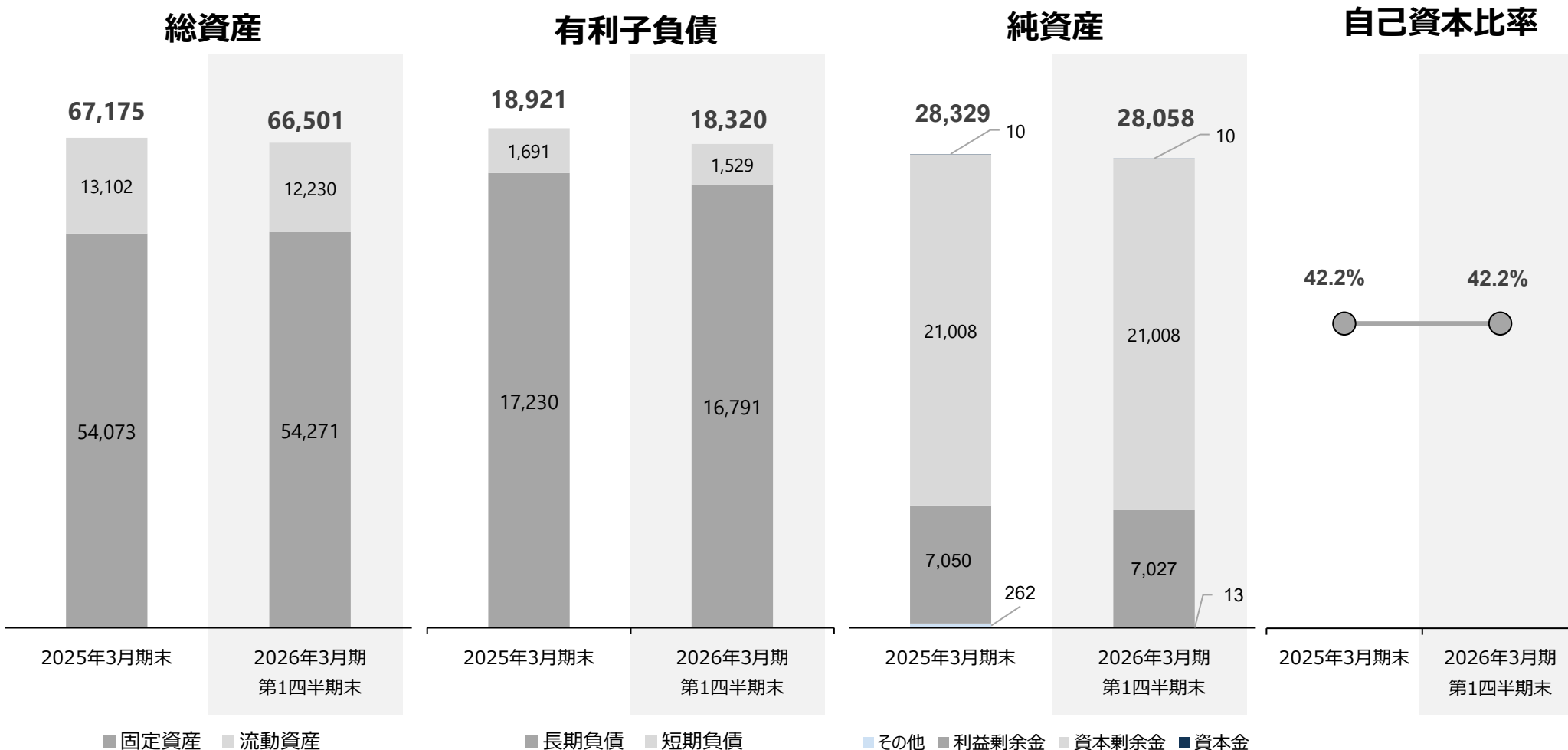
ホテルの運営費用は変動費と固定費に大別され、運営契約形態に応じて、不動産オーナーと運営会社の利益・リスクのシェアが変化する



2026年3月期第1四半期 財政状態

2025年3月期末と比較して大幅な変動はなく、引き続き健全な財政状態を維持

単位：百万円



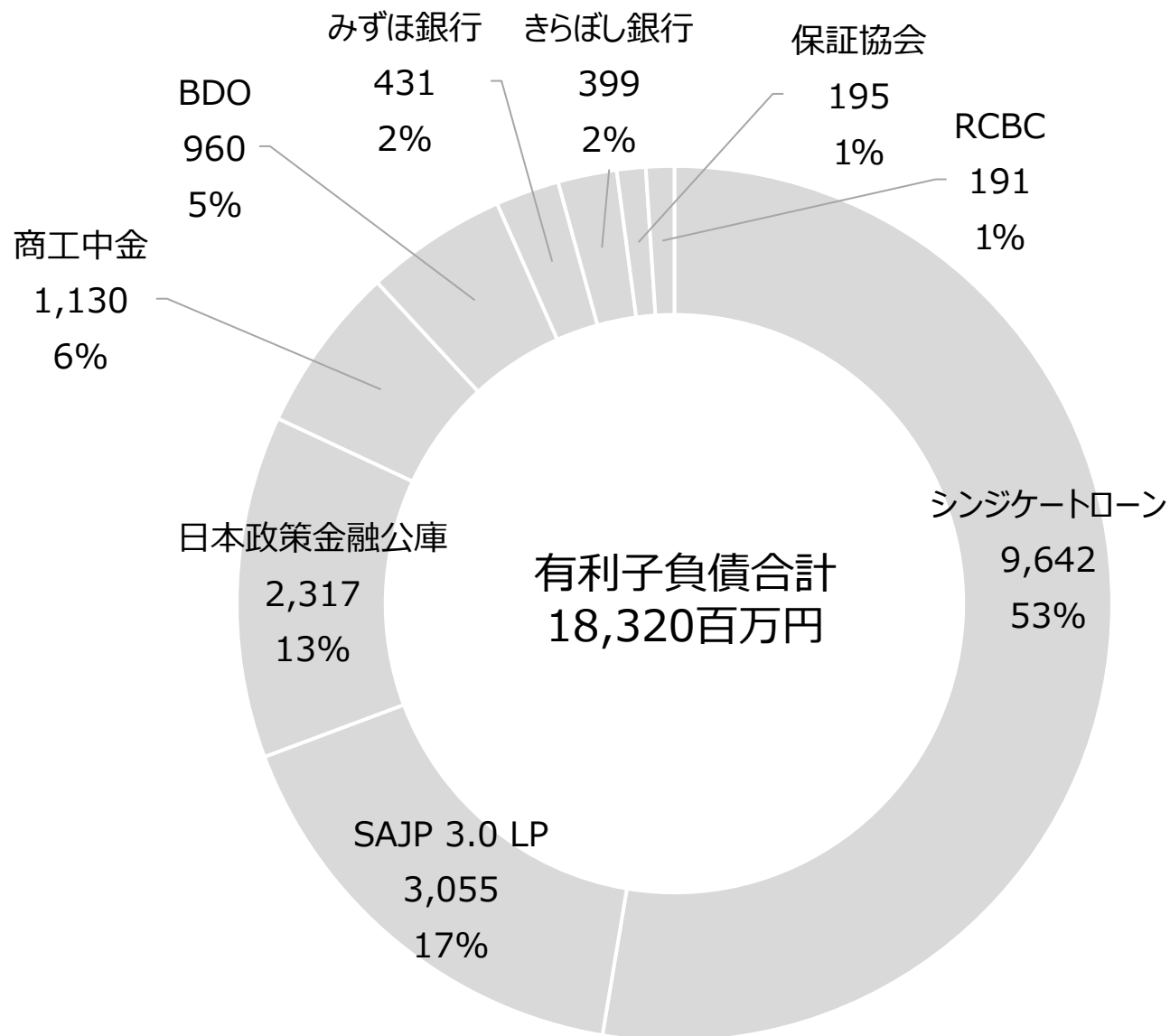
注 1. リース債務を除く
2. 長期負債の返済期限は1年超

2026年3月期第1四半期 連結貸借対照表

(単位：千円)	前連結会計年度 2025年3月31日	当四半期 連結会計期間 2025年6月30日	差異	前連結会計年度 2025年3月31日	当四半期 連結会計期間 2025年6月30日	差異	
資産の部							
流動資産							
現金及び預金	7,514,013	6,294,161	△1,219,852				
売掛金	3,815,875	3,830,217	14,342				
原材料及び貯蔵品	211,570	200,041	△11,529				
その他（流動資産）	1,573,771	1,918,995	345,224				
貸倒引当金（流動）	△13,402	△12,996	406				
流動資産合計	13,101,826	12,230,418	△871,408				
固定資産							
有形固定資産							
建物及び構築物（純額）	10,806,124	10,277,084	△529,040				
土地	510,860	498,485	△12,375				
リース資産（純額）	7,735,138	7,579,397	△155,741				
使用権資産（純額）	2,026,457	2,759,221	732,764				
建設仮勘定	45,810	56,471	10,661				
その他（純額）	688,300	649,652	△38,648				
有形固定資産合計	21,812,688	21,820,309	7,621				
無形固定資産							
のれん	25,750,263	25,424,310	△325,953				
その他（無形固定資産）	86,190	81,655	△4,535				
無形固定資産合計	25,836,453	25,505,965	△330,488				
投資その他の資産							
投資有価証券	2,415	502,415	500,000				
敷金及び保証金	2,543,431	2,605,752	62,321				
その他（投資その他の資産）	3,878,002	3,836,306	△41,696				
投資その他の資産合計	6,423,848	6,944,473	520,625				
固定資産合計	54,072,989	54,270,748	197,759				
資産合計	67,174,815	66,501,165	△673,650				
				負債の部			
				流動負債			
				買掛金	486,270	410,625	△75,645
				1年内返済予定の長期借入金	1,690,887	1,528,825	△162,062
				未払金	2,804,949	2,523,094	△281,855
				未払法人税等	84,745	37,822	△46,923
				賞与引当金	109,223	257,692	148,469
				その他（流動負債）	3,053,179	3,064,918	11,739
				流動負債合計	8,229,253	7,822,977	△406,276
				固定負債			
				長期借入金	15,429,788	14,991,051	△438,737
				資本性劣後借入金	1,800,000	1,800,000	0
				リース債務（長期）	12,155,112	12,826,591	671,479
				退職給付に係る負債	53,022	52,458	△564
				資産除去債務	227,677	227,677	0
				その他（固定負債）	950,542	722,753	△227,789
				固定負債合計	30,616,141	30,620,530	4,389
				負債合計	38,845,394	38,443,507	△401,887
				純資産の部			
				株主資本			
				資本金	10,000	10,000	0
				資本剰余金	21,007,884	21,007,884	0
				利益剰余金	7,049,615	7,027,163	△22,452
				自己株式	△2,992	△2,992	0
				株主資本合計	28,064,507	28,042,055	△22,452
				その他の包括利益累計額	264,914	15,603	△249,311
				純資産合計	28,329,421	28,057,659	△271,762
				負債純資産合計	67,174,815	66,501,165	△673,650

借入の状況

単位：百万円



注：シンジケートローンは、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする計7行(株式会社三井住友銀行、株式会社きらぼし銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社SBI新生銀行、株式会社千葉銀行、株式会社十八親和銀行)の協調融資によるものであります。

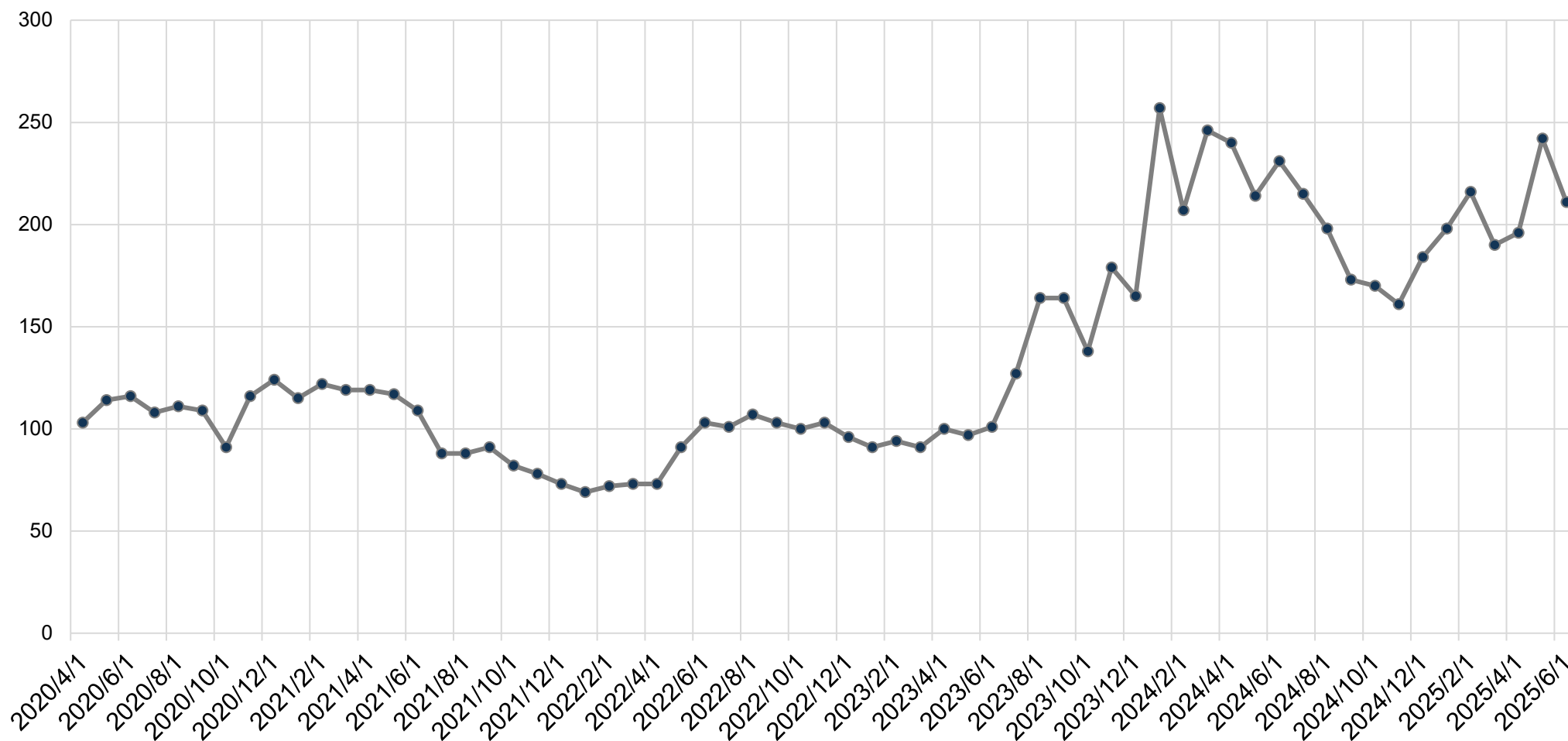
5カ年財務データ

決算年月		2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月
売上高	(千円)	2,971,588	3,712,127	7,017,664	22,545,288	27,881,446
経常利益又は経常損失 (△)	(千円)	△1,684,631	△1,623,142	△215,243	2,608,746	1,893,262
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	(千円)	△2,101,153	△1,829,816	534,189	3,297,199	2,610,672
包括利益	(千円)	△2,101,092	△1,829,815	534,190	3,361,789	2,810,851
純資産	(千円)	△784,433	192,600	2,910,571	6,884,782	28,329,421
総資産	(千円)	4,996,853	12,035,678	24,653,218	23,208,107	67,174,815
1株当たり純資産	(円)	△13.35	1.99	24.83	55.46	121.19
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	(円)	△37.83	△25.98	4.98	26.86	16.90
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)	–	–	4.91	26.44	16.83
自己資本比率	(%)	△15.8	1.5	11.8	29.7	42.2
自己資本利益率	(%)	–	–	34.6	67.4	14.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△1,509,540	△7,818,785	△109,963	7,739,499	4,285,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△650,867	△415,301	△728,200	△1,659,113	△3,876,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,946,137	8,798,969	2,185,003	△6,943,207	4,043,345
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	1,659,505	2,224,386	3,571,227	2,723,271	7,195,869
従業員数	(名)	191	171	358	486	1,109
[外、平均臨時雇用者数]		[216]	[219]	[163]	[201]	[686]

5カ年株価推移

決算年月		2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月
株価（期末）	（円）	119	73	91	246	190
時価総額（期末）	（千円）	7,023,248	6,685,076	10,644,196	30,536,937	44,413,389
株価収益率	（倍）	-	-	18.3	9.2	11.2

株価（円） 2020/4-2025/6



留意事項（国内運営ホテル KPI、エリア別KPI）

1. 2024年4月時点において運営を開始しており、かつ2025年6月末日時点で運営を継続しているホテルを集計対象としています。前年度の各数値は、2025年3月期より連結対象となった株式会社ミナシアが運営していたホテルの数値を含みます。また、東日本大震災からの復興支援を主目的とした社会貢献ホテルの「バリュー・ザ・ホテル」ブランドの4ホテルは集計対象外としております。
2. 客室稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
3. ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を含みます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
4. RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。
5. インバウンド比率：一定期間の延宿泊者数に占める外国人延宿泊者数の比率をいいます。
6. 客室稼働率、インバウンド比率、ADR及びRevPARは小数点以下を四捨五入して記載しています。
7. 各エリア名の括弧内に当該エリアに含まれる集計対象ホテル数を記載しています。
8. 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経ていないため、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではなく、今後修正される可能性がありますのでご注意ください。

本資料は、2026年3月期第1四半期決算に関する情報提供を目的として公表するものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に記載されている今後の予測・戦略等に関わる情報は、この資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生又は通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の今後の予測・戦略等に関わる情報には潜在的なリスクや不確実性が存在しているため、本資料記載の今後の予測・戦略等に関わる情報のみに全面的に依拠されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、転送等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

ポラリス・ホールディングス株式会社
電話番号 03-5822-3010
E-mail ir@polaris-holdings.com